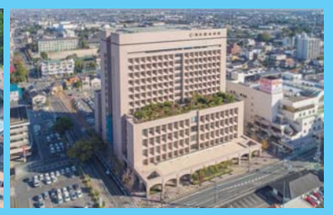
’19

KUMAMOTO

CLINICAL

TRAINING



HOSPITAL

GUIDE BOOK

熊本県健康福祉部 健康局 医療政策課

〒862-8570　熊本県熊本市中央区水前寺6-18-1

Tel ／096-333-2204　Fax ／096-385-1754　E-mail ／iryoseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

2019年度版

熊本県臨床研修病院パンフレット『レジデント』

熊本県臨床研修病院連絡協議会

@ KUMAMOTO

熊本で歩む、医師への一歩。

RESIDENT

KUMAMOTO CLINICAL TRAINING
HOSPITAL GUIDE BOOK

’19

©2010 熊本県 くまモン

みんなが知りたい！
KUMAMOTO LIFE

数字で分かる！
臨床研修医満足度アンケート

熊本県の臨床研修病院
全14病院を詳しく紹介

/ 熊本の医療の現状 /

/ 協力型臨床研修病院・研修協力施設一覧 /

RealVoice!
熊本臨床研修医の
ホンネ
特集座談会

CONTENTS

CURRENT TOPICS / 特集

臨床研修医誌上座談会 …… 3
臨床研修医13名に聞いた、熊本を選んだ理由や魅力を
誌面上だけの限定座談会としてご紹介！

KUMAMOTO Life …… 7

臨床研修医満足度アンケート …… 11

臨床研修病院一覧 …… 14
●所在地マップ　●研修病院の主な指定状況

熊本市 くまもと森都総合病院 …… 17
熊本市民病院 …… 21
熊本赤十字病院 …… 23
熊本大学医学部附属病院 …… 27
熊本中央病院 …… 31
済生会熊本病院 …… 35
熊本医療センター …… 39
八代市 熊本総合病院 …… 43
八代市 熊本労災病院 …… 47
人吉市 人吉医療センター …… 51
水俣市 国保水俣市立総合医療センター …… 55
荒尾市 荒尾市民病院 …… 59
玉名市 公立玉名中央病院 …… 63
天草市 天草地域医療センター …… 67

救命救急 連携力が支える、熊本の救急医療 …… 71
●Doctor-Heli ドクターヘリ　●小児救命救急センター

熊本県の医療の現状 …… 73
●人口10万人に対する医師の数（医療施設従事医師数）　●医師数の推移等のデータ

協力型臨床研修病院、研修協力施設一覧 …… 75

熊本臨床研修医の

ホンネ

特集座談会

Real Voice!

RESIDENT SYMPOSIUM

「熊本県」を初期研修先に選んだ

臨床研修医の皆さんに

選んだ理由や魅力などを質問してみました!

熊本での研修を志望した理由は?

榎木 私は熊大出身なので、大学で培った同期や先輩方とのつながりがそのまま生かしたいと思いました。特に熊本市内は病院の選択肢も豊富だったので。

大塚 私も熊本出身で、住み慣れた土地で研修したいと思いました。将来地元でクリニックの後を継ぎたいと思っており、熊本で働くことを考えると先輩の先生方や地域の方々とのつながりを大切にしたいと思い熊本で研修することにしました。

髙木 県外の大学に進学しましたが、熊本地震の影響が大きかったですね。故郷が心配で「地元の医療に貢献しなければ」と熊本で研修先を探しました。

鈴木 私は神奈川県出身で、縁もゆかりもなかった熊本に大学進学で来ました。最初は知らない場所に戸惑うことも多かったのですが、周りの人に恵まれて充実した学生生活を送る事ができました。将来、こういう人たちと一緒に仕事がしたいと思い、熊本県内での研修を希望しました。熊本の人は、優しいです!

吉丸 私は出身も大学も県外です。救急をしっかり学べる病院・実践的に医療を学べる病院を九州内で探していて、熊本に行き着きました。将来的には地元の宮崎県で働くことも考えているので、似たような地域条件で働ける場所というのも理由でした。

国立病院機構
熊本医療センター
〔研修2年目〕
榎木 愛里

熊本労災病院
〔研修1年目〕
髙木 寬

研修環境として、熊本ならではの魅力は感じますか?

松永 熊大病院を中心に、市内には日赤、済生会など3次救急まで受け入れ可能な病院が集まっており、地方からはヘリによる連携がしっかりできていて、地方の病院で対応困難な症例は迅速に搬送できる点が魅力だと思う。私が勤めている天草でも、「この患者はどこに送ろう」と悩む必要もなく、連携体制が固まっているのが助かります。

太田 県内に大学医学部が1つしかないせいか、あまり派閥争いがないようにも思います。先生方は優しく、他大学出身で熊本に戻ってきた人にもよく指導してくれます。県外から来る人にとって働きやすい土地柄のように思います。

大石 私は県外の大学から熊大病院へと入りましたが、とてもウェルカムな雰囲気で安心しました。正直、受け入れてもらえるか少し不安もあったので…。

榎木 確かに、地域性なのか学閥的なものは感じませんね。病院も地域も隔たりがなく、どこの地域の患者さんでも重症度に合わせて搬送し、病院間の連携もできているので、医療的に成熟している県だと思います。

北村 「熊本方式」と言われるように、独特の連携体制があるので、時代のニーズに合う地域医療のあり方を学んだり考えたりする良い機会にもなります。

木下 やはり、「災害を経験した県」であることも強さの1つだと思います。経験しているからこそ、災害医療に対応できますから。

鈴木 あとは、医師はもちろんですが患者さんに温かい人が多いように思います。医師も医療職も、患者さんと寄り添って治療をしていくという姿勢が自然で、余計なことにとらわれず研修に集中できていると思います。私は関東出身ですが、熊本弁にも染まってきました(笑)。

荒尾市民病院
〔研修2年目〕
蓑田 理彦

臨床研修する上で、ご自身が勤める病院・地域の特徴や魅力的な点は?

大塚 私が勤める済生会熊本病院は、熊本市内で年間約2万人の救急患者を受け入れています。研修医はファーストタッチから関わり、救命救急の豊富な経験を積むことができるのが大きな魅力ですね。

太田 同じ熊本市内でも、中央病院はたくさん救急車が来る病院ではありませんが、救急疾患も経験できます。病床も多すぎず少なすぎず患者さん一人一人についてじっくり考えることができます。急性期から家に帰るまでを一貫して診ることができるのも、良い経験になりますね。

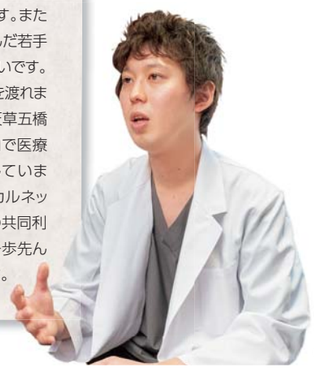
大石 私は大学病院で研修中です。医師の数が多いため、たくさんの先生から指導を受けることができます。他の研修医と一緒に学べ、周りと助け合いながら臨めるのは安心です。自分の経験と他の先生の手法を見比べて得られる学びも大きいです。カンファレンスも充実しており、アカデミックな教育も受けられます。研修の自由度も高いと思います。

蓑田 荒尾市民病院は人口5万人程度の地方都市・荒尾市にある中核病院なので、症例数は適度で丁度いいです。救急は「断らない」スタンスなので、しっかり研修できます。また、元々炭坑の街なので、若い頃お酒やタバコなどで無茶をした方の特殊な症例が多いのが特徴的だという話も聞きますね。

佐藤 私も地域の拠点病院である人吉医療センターに勤めていますが、臨床経験豊富な先生が多い印象です。また当院は、熊大の医局などである程度経験を積んだ若手医師も多く、いろいろ質問しやすいのもありがたいです。

松永 天草は熊本市内から距離があり、車でないと橋を渡れません。そのため、天草地域医療センターでは「天草五橋を渡らせない」とのスローガンの元、天草圏内で医療を完結させることを目標に、各科一致団結しています。また、天草医療圏内では「あまくさメディカルネット」というIT医療連携が稼動しています。機器の共同利用や画像、診療情報を病院同士で共有でき、一歩先んじた地域医療のシステムを学ぶこともできます。

天草地域医療センター
〔研修1年目〕
松永 光平



RESIDENT × SYMPOSIUM

皆さんが住まれているエリアの住みやすさはいかがですか?

大石 熊大病院の立地は市の中心街からとても近く、歩いて行けるので便利です。休日も街に行ったり、福岡に新幹線ですぐ行けますね。母校がある鹿児島にも新幹線で45分で着くので、たまに遊びに行きます。

吉田 森都総合病院もお店が近くに多くて住みやすく、満足しています。街に近く歩いて行けるので、飲みに行くのにも便利です。ただ、研修医の人数が少ないので、あまり深酒できないのがネックです(笑)。

大塚 済生会熊本病院は、熊本市中心市街地から程よい距離でありながら、近隣にはショッピングモールや温泉、食事がおいしいお店もたくさんあり住みやすいです。おいしい馬肉やハンバーガーの店がオススメです。

太田 ただ、ちょっと郊外になると夕方の渋滞がひどいのが悩みどころですね…。私は院内で勉強したり近くにあるモールに行ったりして、帰宅時間をずらしています。

髙木 八代市は、田舎ではあるけど熊本の第二の都市。近くには繁華街もあり飲み屋もいっぱいあります。新幹線があることで熊本市内からアクセスが良く、市内から通勤している職員も多いです。

北村 玉名にも新幹線の駅があるので、実家がある福岡へも帰りやすいです。玉名が温泉が多く、家族風呂が多いので子ども連れでも便利です!

松永 天草は特に「食」を楽しんでいます。海産物はどれも新鮮で、ここでしか味わえないものが多いです。お気に入りは、カワハギに肝醤油がかかった丼ぶり。天草に来て体重が6kg増えてしまいました(笑)。また、飛行機を使えば、福岡まで30分で行けるのも密かな魅力です。休日に買い物に行く際は利用しています。

佐藤 人吉は、なかなかの田舎です。ただ、土地がある分周辺にゴルフ場が多く、私も人吉で働き始めてからゴルフを始めました。

熊本総合病院
〔医師4年目〕
木下 翔太郎

済生会熊本病院
〔研修2年目〕
大塚 郁弥

熊本地震から学ぶ災害医療については?

榎木 熊本地震から3年がたとうとしているけど、いまだに仮設住宅に住んでいる患者さんがいて、地震の爪痕は残っていると感じますね。モーニングセミナーで災害時の対応を学びますが、普段の業務とは全く違って大変だと感じた。当時研修医の先輩達も大変だったと聞きました。

吉丸 熊本地震は直接医師としては経験しませんでしたが、院内の災害研修や救護班訓練を通して、災害時の対応に関して学んでいます。災害拠点病院で働くものとしての心構えや実際の動き方に関して学びました。当時の話を上の先生から聞くことも多いです。実体験に基づいた学びなので、イメージするだけの訓練よりも、学べる事が多いように思います。

大石 医療資源には限りがあります。必要な患者さんに適切な医療を提供できるよう、さまざまな職種の医療スタッフがチームで当たる必要があると感じました。また災害はどこで発生するか分からないので、事前に準備をして災害に備えたり、訓練の重要性を感じています。

蓑田 先日、玉名地方で震度6弱の地震がありましたが(2019年1月)、そのときも念のため救急外来へとはりつきました。被害はなくホッとしましたが、普段から意識する必要があると改めて実感した経験でしたね。

木下 やはり、一度経験しているからこそ、災害時に医療スタッフとして何が必要か、何をすべきかが分かるものですよね。とっさの判断や行動力に現れると思います。

松永 私は地震の時は熊大生で、偶然大学病院に居ました。人がたくさん来て、「津波が来るかも」など不確定な情報も飛び交い、正しい対応をとることの難しさを実感しました。今勤める天草は四方を海に囲まれているので、万が一津波が起こった場合は初期対応が命になります。病院も津波などを想定したつくりになっているようです。そのときも適切な対応ができるよう、日頃からの心構えが大切だと思っています。

熊本赤十字病院
〔研修2年目〕
吉丸 崚

くまもと
森都総合病院
〔研修1年目〕
吉田 知史

公立玉名中央病院
〔研修2年目〕
北村 由希子

人吉医療センター
〔研修2年目〕
佐藤 慶治

「後期研修医」から「専攻医」への変化でみなさんが感じていらしゃる事を一言

吉丸 私が勤める日赤には後期研修医も多く、今は憧れのお兄さん、お姉さんという感じで、お手本にしています。3年目から自分も同じように思われるよう頑張らないと、と身が引き締まりますね。

大石 熊大病院の場合は、行きたい科が決まったらそのまま3年目に繋がる研修を選択することができるので、メリットが大きいと思っています。私は麻酔科を専攻するので大きな変化は感じていませんが、内科系、外科系はさらに学ぶ領域が増えるようですね。

榎木 私も脳神経外科で1階建ての領域なので、あまり変化は感じていないかな…?

大塚 私は将来、消化器内科を専攻するつもりです。新制度により、まず内科専門医を取得しなければなりません。専攻医においては早く1人前の医師として働けるようになりたいので、現在の制度で遠回りのような気もします。ただ、どの科においても患者さんは複数の疾患を持っている方が多いので、内科疾患を診療できるようになる必要があると感じています。

北村 私は3年目以降は小児科へ進みますが、内科と迷った時期がありました。ただ、新制度に変わって、内科は経験するべき症例も増えて大変になりそうという印象はあった。私は子育てしながらの勤務になるので、いろんな科を回ることで生活リズムも変わり、大変だと感じたのが、正直なところです。

吉田 とにかく変化にしっかりついていけるように、という思いですね。熊本市外の出身で中学から県外に出て、まだまだ熊本に戻ってきて2年なので、熊本の医療にしっかり入り込んで頑張っていきたいと思います。

佐藤 私は学生時代から整形外科を目指していました。以前のプログラムだと、回る病院がその都度、配属直前に決まることも多かったそうですが、新プログラムだとある程度決まっているようなので、効率的で準備もしやすそうです。

鈴木 私はまだ3年目以降は決めていませんが、新制度だと専門の勉強をする期間が長くなるため、より実力がしっかりつくと前向きに感じていますね。

熊本中央病院
〔研修2年目〕
太田 成美

国保水俣市立
総合医療センター
〔研修1年目〕
鈴木 健久

熊本大学
医学部附属病院
〔研修2年目〕
大石 将之

最後に、熊本県での研修を検討されている学生さんへメッセージを!

吉丸 救急症例も豊富で実践を通して医療を学ぶ機会がたくさんあります。医師として実践で働きながら学びたい方にはおすすめの環境が揃っていると思います。また県外へのアクセスも豊富なので、週末を利用して研修会や学会にも行きやすい環境です。実践したことをやりっぱなしにしたくない人にもおすすめの環境だと思います。

佐藤 最終的に研修の場所がどこになっても、やるべきことは一緒です。ただ、そのためにも、いろんな所を見に行って自分に合う場所を決めた方がいいと思います。

太田 熊本は市内も郊外も選択肢が豊富なので、自分に合う場所が見つかると思います。研修医の雰囲気がそのまま病院の特徴を表すと思うので、研修医をじっくり見て、研修先を探すといいですよ。

榎木 熊本県は救急医療を頑張っている病院、地域医療を頑張っている病院とそれぞれに特徴があるので、自分の希望する臨床研修に合わせた研修先を選ぶことができる土地です、熊本市内でも、西区は他の区に比べて高齢化率が高かったりと、市内でもいろんな選択肢があります。

大石 そして、熊本には多くの優しい熱心な指導医の先生方います!学閥なども感じないので、県外出身でも安心して学べるはずです。

鈴木 そうですね、熊本はどこでも親切な人が多い印象があります。学生の時に抱いていた夢や情熱を、これまで以上に広げられる研修ができると思います。周りのスタッフも含めて、いい空気だと思います。県外出身でも安心して来てください。

松永 熊本の医療の現状として、熊本市外での医療圏の医師不足が深刻です。若いときに地域医療に従事し、地方の課題を目の当たりにし、医療に携わる中で喜びや厳しさを経験すれば、医師として数段パワーアップできると思います。地域医療に興味のある皆さんが出てきてくれるのを期待しています。

程よいサイズの街並み

Town

研修医の本分は勉強!
遊んでばっかりじゃいけません!
熊本なら研修に集中できるハズ。
でも、やっぱり思い出は作りたいですよね。
熊本の中心地、熊本市には
遊び場もオシャレなお店も
美味しいグルメも程よくそろってます。
思い出を作りながら、研修もがんばる!
充実した研修医生活を送れますよ。

94.2%

熊本で研修して良かった

「地元に貢献したいと思った」
「将来熊本で働くためのつながりができた」
「優しい人が多い」
「幅広い領域を学べた」
「たくさんの仲間ができた」
などのポジティブな声が
多く挙がっていました。

癒される自然

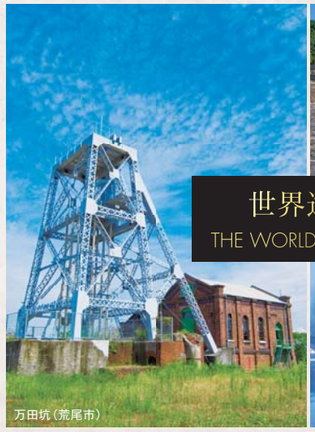
Nature

世界最大級のカルデラ地形を持つ阿蘇。
カルデラの中心部には火口を含む阿蘇五岳、
周辺には高度1000m級のエリアに
草原が広がる外輪山と、
雄大な自然が織り成す景色は圧巻です。
また、熊本県の南西部に位置し、
大小120の島々が連なる天草エリア。
美しい海を楽しめるスポットとして人気です。
海の観光地はもちろん、
ドライブやレジャーに人気のエリアです。
世界遺産が3箇所
「明治日本の産業革命遺産」に選ばれた
荒尾市の三池炭鉱万田坑と宇城市の三角西港、
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に
選ばれた﨑津教会や集落の景色もぜひ。

90.8%

熊本は住みやすいと感じる

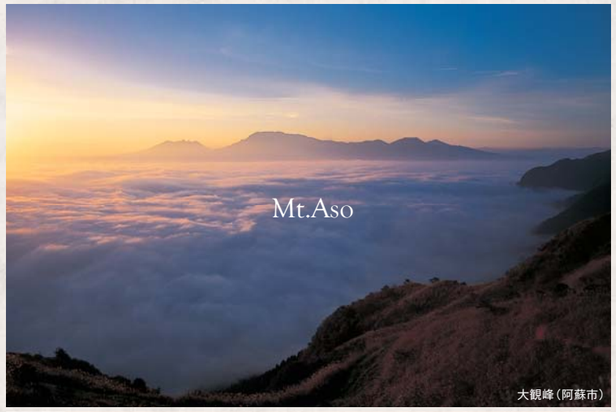
中心市街地の程よい規模感や、
お店などの多さ、
地域の食や観光地の豊かさなど、
住みやすいとの回答が多数。
一方で車がないと不便、
渋滞が多いなどの声も。



万田坑（荒尾市）

三角西港（宇城市）

﨑津集落（天草市）



大観峰（阿蘇市）

白浦海水浴場（天草市）

黒川温泉（南小国町）

各地に温泉だらけ

熊本県内のいろんな場所に
たくさんの温泉があります。
昔ながらの温泉旅館が連な
る温泉観光地はもちろん、普
段使いできる温泉も豊富。日
頃の疲れをじっくり癒せると、
研修医の先輩にも好評です。

Gourmet

水がイイから、まず米がウマい。
自然が近いから、食材が新鮮。

阿蘇、天草、有明海…
大自然が広がる熊本。
水が清らかだからお米も美味しい。
大自然で育った肉や魚、
絶品グルメも楽しめちゃいますよ!

97.6%

熊本の食について満足している

県内出身の人にとっては、慣れ親しんだ故郷の味。
県外出身の人にとっては、水や野菜、肉、魚など、
様々な食材のおいしさに満足しているようです。
全国有数の農業県である熊本。
馬刺、熊本ラーメン、太平燕（タイピーエン）などの
名産品以外にも、大地の恵みを受けた
「うまかもん」が数え切れないほどあります。
街中で食べ歩きを楽しんだり、
地方で地元の人しか知らない名店を尋ねたりと、
地域ごとに食の楽しみも豊富です。

鮮度が高い食に満足

数字で分かる！ Kumamoto questionnaire

臨床研修医 満足度アンケート

Q. 熊本の研修体制の満足度は何パーセント？

H.26 満足度 88.3%

アンケート初年度は研修医の数も比較的少なく、90%を下回る結果に。

H.27 満足度 93%

H.28 満足度 90.3%

H.29 満足度 94.9%

未曾有の災害に直面した研修医。体験からの学びも多かった。

H.30 満足度 96.7%

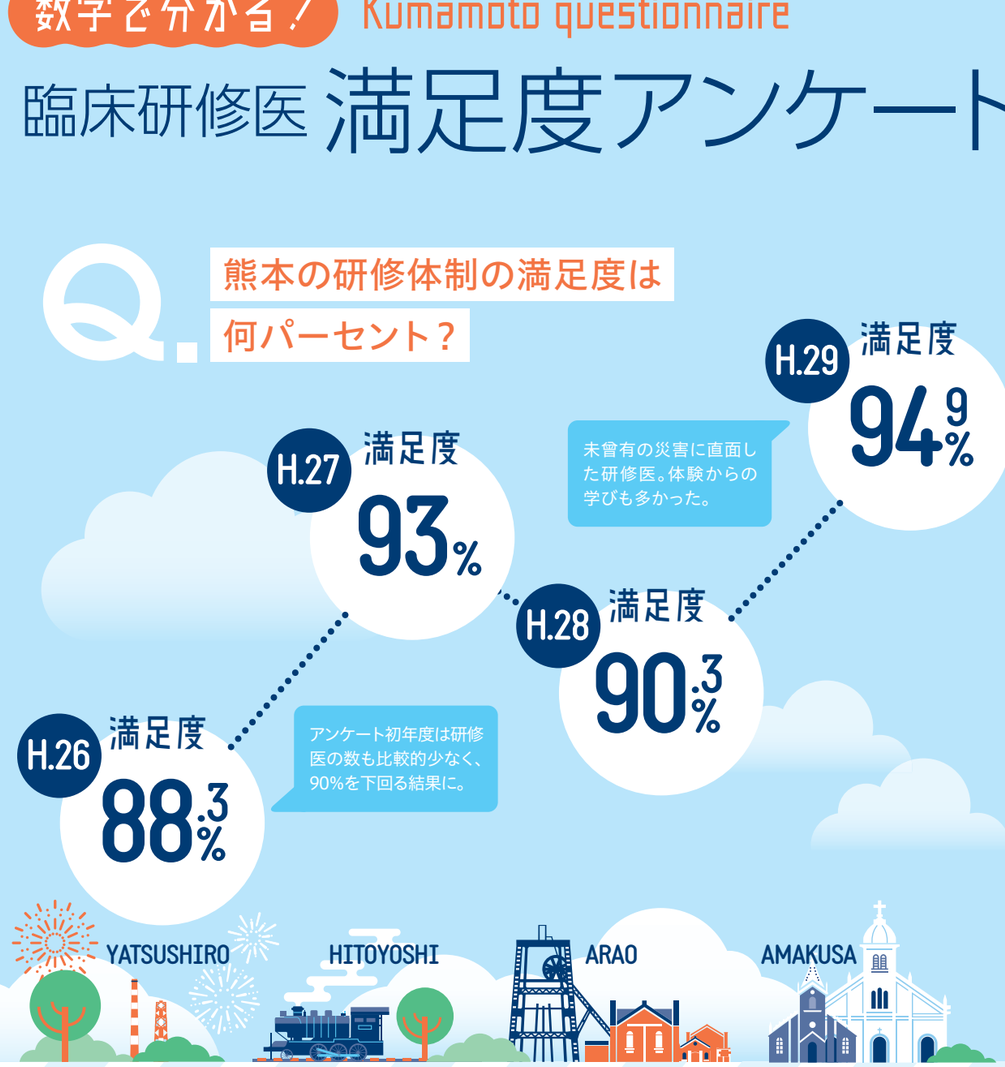
熊本ならではの災害医療や自由度の高さなどが改めて注目される。

H.31 満足度 98.9%

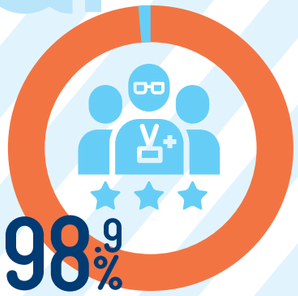
5年連続で90%以上をキープする好成績!!

回答者のうち約6割が熊本大学出身者。県内、県外からバランス良く人が集まり、多くの研修医が満足している結果がわかりました。

毎年恒例となった臨床研修医向けのアンケート。
熊本県内で働く初期研修医87名が
回答してくれました。
熊本県における臨床研修の
リアルな声を参考にしてください。



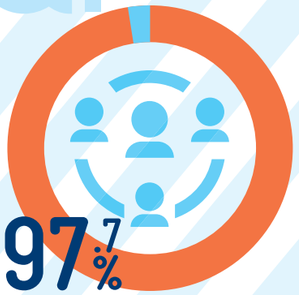
指導医の指導の質や能力



98.9%

「熊本には熱意溢れる指導医が多い」との声も聞かれるように、指導医に対しては満足度が高い結果に。お手本として学びたい上級医も多いようです。

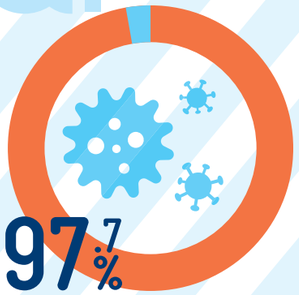
指導医の人数や配置



97.7%

日々の業務の中での研修。担当指導医だけでなく科を超えて指導する体制も取られているようです。業務の忙しさに対して人が少ない科もあるとの声も。

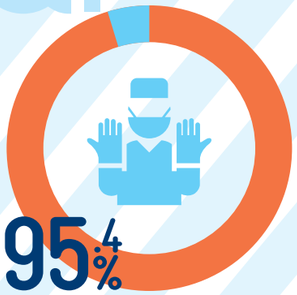
経験できる症例の豊富さ



97.7%

熊本市内、市外問わず、全体的に満足しているという結果に。満足していない理由として「科によって症例の偏りが大きい」など選んだ進路による所も。

技術や知識の修得状況



95.4%

実践できる手技が多い研修の病院ほど、満足度が高い傾向に。一方で、経験できる手技が少ない、業務的なことしかできない科がある、などを指摘する声も。

後輩医師へのオススメ度

100%

「熊本で働くならぜひ勧めたい」「人が優しい」「研修とプライベートの両立がしやすい」「大病院も地域の病院も充実している」などの声が挙がりました。

ワークライフバランス

93.1%

全般的には満足の声が多いものの、忙しさを感じている人も。当直の回数や時間は病院によって異なるため、自分のペースと合う病院かを検討することが必要。

@all KUMAMOTO

熊本の医療機関・行政・地域が連携。
ALL KUMAMOTOで、医師のみなさんを応援します。

国内でも有数の医療機関数、医師数を誇る熊本。熊本大学医学部附属病院をはじめ、基幹型臨床研修病院（13病院）、協力型臨床研修病院・研修協力施設が各地域に数多く存在しています。
また、県では指導医養成講座を開催して指導医の養成を積極的にサポートし、指導医の人数も年々増えています。さらに、地域医療を学ぶ、県独自のプログラムの設置や女性医師の支援体制の整備など、県ぐるみで優れた医療人の育成に力を入れています。
研修医一人一人を「ALL KUMAMOTO」で厚く、温かくバックアップする熊本の地で、医師としての第一歩を歩まれることを心からお待ちしています。

地域研修に関する県独自のプログラム

熊本市内の病院に在籍しながら地域医療も体感できるように、「初期研修 地域医療・総合診療特化モデル・プログラム」を策定し、それに準じた魅力ある研修プログラムを熊本市内の5病院※が整備しています。あなたも是非この研修プログラムに参加して、新たな一歩を踏み出してみませんか？

※対象病院…熊本赤十字病院、熊本大学医学部附属病院、熊本中央病院、済生会熊本病院、熊本医療センター

熊本県女性医師キャリア支援センター

熊本県でも女性医師の割合は18%と年々増加し、40歳未満では30%を超えています。女性医師は既に医療の主力となっているのに出産・子育て・介護など家庭と仕事の両立に悩み、休職・離職する女性医師も少なくありません。当センターは平成23年度からこのような悩みを抱えている女性医師に対し、復職支援・育児支援・介護支援を行い、女性医師の活躍の場が広がっていくことを目的として活動しています。

公式Webサイト　熊本県女性医師キャリア支援センター　検索

熊本の取り組みの詳しい情報はこちら

KUMAMOTO COMMUNITY MEDICINE STATION
くまもと地域医療ステーション

熊本県の安定的な地域医療の確保を目的とした情報交流サイトです。

くまもと地域医療ステーション　検索

iryou.pref.kumamoto.jp

熊本県臨床研修病院一覧

KUMAMOTO SHINTO GENERAL HOSPITAL
KUMAMOTO CITY HOSPITAL
JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL
KUMAMOTO UNIVERSITY HOSPITAL
KUMAMOTO CHUO HOSPITAL
SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL
KUMAMOTO MEDICAL CENTER
KUMAMOTO GENERAL HOSPITAL
KUMAMOTO ROUSAI HOSPITAL
HITOYOSHI MEDICAL CENTER
MINAMATA CITY GENERAL HOSPITAL AND MEDICAL CENTER
ARAO MUNICIPAL HOSPITAL
TAMANA CENTRAL HOSPITAL
AMAKUSA MEDICAL CENTER

HOSPITAL MAP

熊本県内の臨床研修病院マップ

熊本市

1. 医療法人創起会 くまもと森都総合病院
2. 熊本市立 熊本市民病院
   ※平成28年の熊本地震の被災により、現在、臨床研修医の募集を中断しています。
3. 熊本赤十字病院
4. 国立大学法人熊本大学 熊本大学医学部附属病院
5. 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院
6. 社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院
7. 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター

玉名市

13. 地方独立行政法人くまもと県北病院機構 公立玉名中央病院

荒尾市

12. 荒尾市民病院

八代市

8. 独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院
9. 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院

天草市

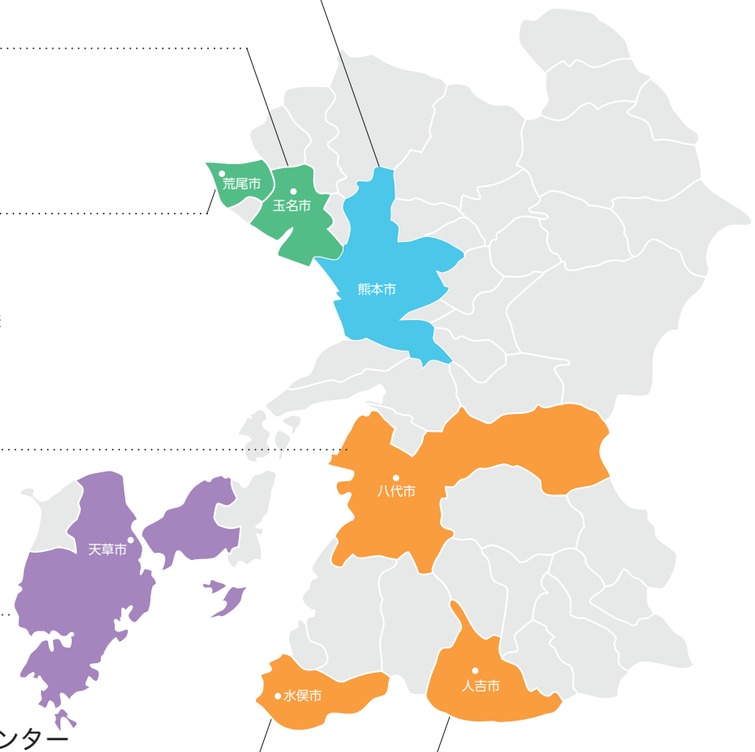
14. 天草郡市医師会立 天草地域医療センター

水俣市

11. 国保水俣市立総合医療センター

人吉市

10. 独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター



エリア別及び50音順

熊本大学医学部附属病院及び基幹型臨床研修病院の主な指定状況　（建制順及び50音順）　平成30年12月末現在

二次保健医療圏	熊本							八代		人吉	水俣	有明	有明	天草
	中央区	東区	東区	中央区	南区	南区	中央区	八代市	八代市	人吉市	水俣市	荒尾市	玉名市	天草市
医療機関名	くまもと森都総合病院	熊本市立熊本市民病院	熊本赤十字病院	熊本大学医学部附属病院	熊本中央病院	済生会熊本病院	熊本医療センター	熊本総合病院	熊本労災病院	人吉医療センター	国保水俣市立総合医療センター	荒尾市民病院	公立玉名中央病院	天草地域医療センター
運営主体	医療法人	自治体立	赤十字	国立大学法人	国共済連	恩賜財団	国病機構	地域医療機能推進機構	労健安機構	地域医療機能推進機構	自治体立	自治体立	地方独立行政法人	医師会立
地域医療支援病院			●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
脳卒中 急性期拠点病院		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
急性心筋梗塞 急性期拠点病院		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
急性心筋梗塞 回復期医療機関			●	●	●	●	●	●	●	●		●		●
がん診療連携拠点病院 国指定		●	●	●		●	●		●	●		●		
がん診療連携拠点病院 県指定	●				●			●			●			●
糖尿病 認定教育施設		●		●	●	●	●	●			●	●	●	●
糖尿病 専門医勤務（変動あり）		●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
精神科 精神科病床がある病院				●			●							
災害時医療 基幹災害拠点病院			●											
災害時医療 地域災害拠点病院						●	●		●	●			●	
災害時医療 DMAT指定病院 ※1			●5	●2		●4	●3		●2	●2	●2		●2	
救急医療 三次救急対応医療機関 ※2（救命救急センター又は高次）			●	●		●	●							
救急医療 二次救急対応医療機関（輪番制・救急告示）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
小児医療 小児救命救急センター			●											
小児医療 小児科医3名以上勤務		●	●	●	●		●		●	●	●		●	●
周産期 総合周産期母子医療センター		●		●										
周産期 地域周産期母子医療センター			●											
周産期 地域周産期（産科）中核病院							●		●	●		●		

※1　数字はDMATのチーム数
※2　三次救急対応医療機関：救命救急センターの3施設（熊本赤十字病院、熊本医療センター、済生会熊本病院）及び熊本大学医学部附属病院

医師としての人格を涵養し病気や病態に適切に対応できる診察能力を身につける

医療法人創起会
くまもと森都総合病院

01

KUMAMOTO SHINTO GENERAL HOSPITAL

伝統的に、診療・教育双方に力を入れる総合病院

当院は企業立病院として90年の歴史を刻み、平成23年には民間の医療法人として経営を独立、平成24年7月1日に「医療法人創起会くまもと森都総合病院」と改称しました。独立前の準公的病院時代から各診療科に専門医、熊本大学臨床教授を配置しており、診療のみでなく教育にも力を入れています。また、平成29年4月1日には新病院に移転し、運営しています。真新しくキレイな病院で学べることも、大切な研修期間を過ごす上で大きな魅力です。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
462人	185人	3,274件

“少人数制の環境で
一人一人の研修医を
病院全体で育ててくれる”

Interview

研修医 吉田 知史
TOMOFUMI YOSHIDA

年数 / 臨床研修1年目
出身大学 / 久留米大学
出身地 / 熊本県玉名市

大学は県外でしたが、将来は地元・熊本で医療へ貢献したいと思っており、研修先も熊本県内で探していました。病院を探すに当たって重視したのが、研修医の人数が多くない環境でした。周りと競うよりも自分でじっくり考えるタイプなので、他の研修医に埋もれずに学べる環境が合っていると思ったからです。「くまもと森都総合病院」は研修医が少人数制で、移転したばかりの新しくキレイな建物で、皆、明るく働いている感じが魅力でした。実際、研修医が少ない分、一人一人に対してとても丁寧に指導いただけています。専攻医の先生もいないため、研修医同士で手技の取り合いになることもなく、珍しい症例も逃さず学べます。自分の勉強の時間もしっかり作れるので、じっくり症例を振り返ったり、1つ1つ消化して次に進める環境だと思います。また、他の病院での研修が多く、初期研修の間からいろんな病院を経験できるのは、大きな経験だと思います。
研修当初、自分に自信が持てずに遠慮しがちだったのですが、先輩医師より「将来迷惑かけるよりは、今失敗した方がいいでしょう？」と声をかけていただき、消極的だった自分も受け入れてもらえました。前に踏み出すための、大きなきっかけでした。普段からいろんな先生が小まめに声をかけてくれ、病院全体で一人一人の研修医を育ててくれる場所です。自分の時間、自分のペースを持ちながら、目の前の患者様や症例にじっくり向きあって学びたい人には理想的な病院だと思います。

くまもと森都総合病院
リウマチ膠原病内科・医長
高岡 宏和
Hirokazu Takaoka

●指導医からのコメント

当院では、“量より質”の指導を目指しており、自分のペースで研修できるのが魅力です。週1回の研修医ミーティングで個々の到達度を話し合うなど、指導も手厚く、温かいです。さらに、学会発表や研究会参加も促しています。個々にあったプログラムで深い研修を行いたい人は、ぜひ当院で一緒に頑張りましょう！

医療法人創起会

くまもと森都総合病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次：診察科目／内科（血液）

曜日	月	火	水	木	金
午前	病棟研修	外来研修	病棟研修	内視鏡・超音波	病棟研修
午後	病棟研修		病棟症例 カンファレンス	病棟研修	

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	→	→	→	→	小児科	麻酔科	救急	→	→	専門 診療科選択
場所	くまもと森都総合病院	→	→	→	→	→	熊本労災 病院	くまもと森都 総合病院	荒尾市民病院			くまもと森都 総合病院

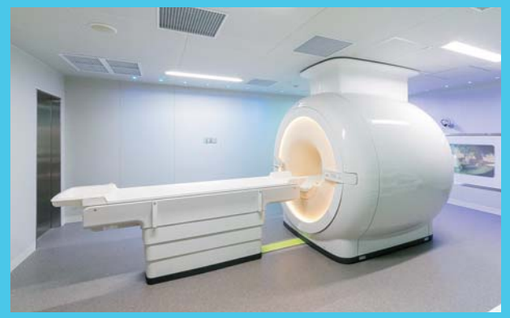
2年次

期間	4月	5月	6月	7月	8月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	専門診療科選択		地域医療	精神科	産科	産婦 人科	外科	→	→	専門診療科選択	→	→	→
場所	くまもと森都総合病院		そよう病院	くまもと 青明病院	慈恵 病院	くまもと森都総合病院		→	→	→	→	→	→

専門的治療と一般診療の両方を経験することができる環境

当院は、熊本市の中心部に位置している中規模な急性期の総合病院であり、当院と研修協力病院及び研修協力施設における2年間の研修期間に、必修3科目及び選択必修5科目の全ての研修を網羅した研修内容としており、厚生労働省が定めた臨床研修到達目標の達成を最重要視した研修プログラムです。募集人員が3名という規模ではありますが、研修においては内科系・外科系の枠を越え、全指導医・上級医が深く関係しつつ柔軟な研修環境を確保するとともに、当院の特徴である「診療科間の垣根の無い環境での研修」を活かし、研修医の皆様に充実した研修を提供いたします。

総合病院として6専門内科（血液、肝臓・消化器、循環器、腎臓、リウマチ膠原病、総合診療科）、外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、眼科、婦人科、麻酔科、放射線科、病理診断科に常勤医を揃えており、これらの診療科が密に連携して日々の診療にあたっています。各診療科は専門医療も提供していますが、地域に根差した病院として一般診療も行っているため、研修では専門的治療と一般診療の両方を経験することができます。また、診療科選択に際して、複数の科にまたがって研修を行うことも可能で、研修医の希望、やる気を尊重して、個々に柔軟なプログラムを作成するようにしています。



病院概要（2018年度時点）

研修・
認定施設の
一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 44名	研修医数 初期 5名 基幹型 3名	指導医数 13名	病床数 199※床

標榜科 内科、肝臓・消化器内科、血液内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、循環器内科、腎臓内科、人工透析内科、リウマチ膠原病内科、リハビリテーション科、漢方内科、外科、整形外科、乳腺外科、放射線科、皮膚科、産婦人科、眼科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科、歯科口腔外科

専門医 肝臓・消化器内科4名、血液内科4名、循環器内科1名、リウマチ膠原病内科1名、放射線科2名、外科2名、整形外科3名、皮膚科3名、産婦人科2名、眼科2名、乳腺外科4名、麻酔科2名、病理診断科1名

※病床数199床のうち、急性期一般154床、地域包括ケア30床、緩和ケア15床

研修医募集要項

応募資格	①第114回（2020年2月実施予定）医師国家試験を受験する者、又は、2018年度末までに医師免許を取得した者で初期臨床研修未実施の者 ②医師臨床研修マッチングプログラムに参加する者
応募締切	2019年7月中旬予定（詳細は病院ホームページにて発表）
試験日程	2019年8月上旬予定（詳細は病院ホームページにて発表）
試験内容	書類審査、面接試験、小論文
給料	1年次　月額／315,000円 2年次　月額／315,000円
諸手当	時間外手当、休日手当、通勤費
年次有給休暇	有（1年次：15日、2年次：15日）
宿舎	無（但し、賃貸住宅手当：30,000円／月）
保険	雇用保険、NTT健康保険組合、厚生年金
医師賠償責任保険	病院加入有
当直回数	1回程度／月

所在地	〒862-8655 熊本市中央区大江3丁目2番65号
担当部署	総務課／間
TEL	096-364-9760（直通）
FAX	096-362-5204
E-mail	hazama@k-shinto.or.jp
URL	www.k-shinto.or.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.k-shinto.or.jp/medical/recruit/

健康を願う市民を支援する、仁愛と奉仕の心を込めた最善の医療を

熊本市立 熊本市民病院

OPEN!
2019.OCTOBER
New Hospital
Diagnosis START!

2019年10月、新しい市民病院となって熊本の更なる医療の充実に貢献します。

当院はこれまで周産期医療、救急医療、感染症医療などの重要な政策医療を担いながら、様々な分野の高度急性期医療を提供し、地域医療に貢献する基幹病院・公立病院としてその役割を担って参りました。2016年4月の震度7を2回も記録した『熊本地震』で当院の建物は甚大な被害を受けました。現在、管理棟（新館）において27の診療科で外来診療を行っております。入院におきましては新生児病棟14床（NICU9床、GCU5床）、一般病棟10床を運用しており、耳鼻咽喉科、眼科、歯科口腔外科、泌尿器科などで手術もおこなっています。ただ依然として本来の病院機能が充分果たせないため、臨床研修医の研修受け入れができない状況です。

現在、新病院は東区東町（陸上自衛隊健軍駐屯地横）で建設中です。2018年2月に工事を開始しており、順調に進んでおります。2019年6月末に新病院は竣工し、10月1日に開院、7日に診療開始の予定です。新病院では、診療科は31科、病床数は388床（一般病床380床、感染症病床8床）となります。救急症例も多く、また多くの診療科の研修が行えるのが当院の特徴です。新病院では『女性とこどもにやさしい病院』をめざします。当院の役割として、母と子の命を守る周産期医療の充実、市民の安心安全を24時間確保する二次救急医療体制、地域の医療機関と連携を強化し生活習慣病やがんなどに対する質の高い急性期医療の提供、災害に即応できる体制や感染症医療などの政策医療などに取り組んでいきます。

新病院は免震構造で地上7階建て、屋上にヘリポートを配置し、ライフラインも多重化し災害に強い病院となります。更に医療機器も今回整備され充実した内容となります。2020年4月から新病院において臨床研修医の皆さんを受け入れる予定です。充実した研修をしていただけるよう、効果的な施設の配置も行っておりますので、新市民病院の研修に是非応募していただきますようお願いいたします。

熊本市民病院 院長
髙田 明
Akira Takada

病院概要（新病院）

研修・認定施設の一覧はコチラ

2019年10月1日（火）開院、10月7日（月）診療開始の予定です。

標榜科

【外科系部門】
消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、婦人科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科

【小児・周産期医療部門】
新生児内科、小児科、小児循環器内科、小児心臓外科、小児外科、産科

【内科系部門】
脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、代謝内科、感染症内科、精神科

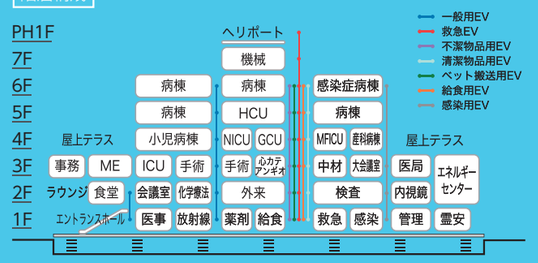
【中央新病部門】
放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科

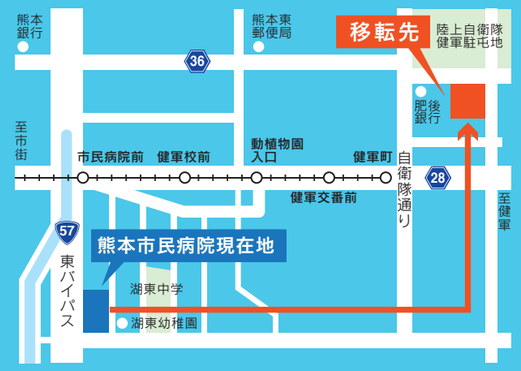
※平成28年熊本地震の被災により、現在、認定・指定の取り消しや一部診療科の休診を行っております。

※図面・パースは全て、2月現在のイメージです。
今後変更の可能性がございます。

震災復興のシンボルとして、熊本市東区東町に2019年10月に移転します。

階層構成





研修医募集について

市民病院での臨床研修医の採用は2020年4月からの開始になります

●指導医からのコメント

熊本地震から3年半。2019年10月7日より全診療科が新病院で診療を開始します。
九州の周産期医療と熊本の地域医療を支える急性期病院として、第一種感染症医療機関として、責務を果たします。皆さんをお待ちしています。
2019年9月までは現病院で規模を縮小した診療と準備を行います。2020年採用の方は、2019年8月に現病院で採用試験を実施します。

熊本市民病院
首席診療部長
横山 幸生
Sachio Yokoyama

所在地 〒862-8505 熊本市東区湖東1丁目1番60号
担当部署 事務局/総務課/人事班
TEL 096-365-1711（代表）内線3654
FAX 096-365-1712
E-mail shiminbyouinsoumu@city.kumamoto.lg.jp
URL www.cityhosp-kumamoto.jp

募集要項の最新情報はホームページをご覧ください。
www.cityhosp-kumamoto.jp

年間6万人を超える救急患者の初期診療から入院・集中治療まで積極的に関わる研修

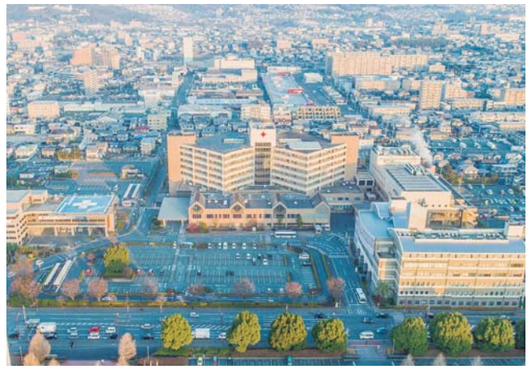
熊本赤十字病院

03

JAPANESE RED CROSS
KUMAMOTO HOSPITAL

救急と総合内科を重視し「目の前の患者から逃げない医師」に

当院の研修の目的は、「目の前の患者から逃げない医師」の育成です。救命救急センターと総合内科を中心に、プライマリ・ケアに重きを置いています。24時間365日、一次から三次まで年間6万人、救急車8千台を受け入れる「総合救命救急センター」での研修を重視。さらに、小児救命救急センター指定で年間2万人以上を受け入れる「こども医療センター」での研修や、ドクターヘリへの体験搭乗、年6回の災害救護訓練など、独自の学びも豊富です。



2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
1,228.9人	443.8人	6,156件

“医療の原点である“救急”での豊富な症例を通して理想の医師像を追求できる！”

Interview

研修医 吉丸 崚
RYOU YOSHIMARU

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 宮崎大学
出身地 / 宮崎県宮崎市

初期研修は救急をしっかり経験でき、実践的に医療を学べる病院を、九州圏内で探していました。気になる病院は何度も見学に行き、同じ研修医の先輩がどう成長されているかまでチェック。中でも、通年で救急対応を経験できる「熊本赤十字病院」は理想の環境でした。実際、月5〜6回はERに入り、ファーストタッチは研修医が行います。救急車の来院数も多いので、救急をはじめ症例が豊富で、治療や手技を実践的に学べます。学習意欲が刺激される日々です。
そして、屋根瓦式の教育体制で教え好きな上級医や専攻医（後期研修医）が多いのも、当院での研修を決めた理由の1つでした。特に、自分を指導してくれる専攻医は身近な目標です。自分も同じようにカッコいい医師になりたいと自然に思える環境は、とても恵まれていると思います。来年からこの病院で、引き続き内科の専攻医として後期研修を受けます。先輩達のように意欲的に学び教えることができる医師に自分もなれるよう、頑張りたいです。
当院での初期研修を通して、救急での適切な判断力や、医学的な知識・技術はもちろん、「患者さんから逃げない」医療への心構えや医師としての振る舞い、習慣が身についたと思います。これは、私の生涯にわたる医師人生の大事な礎となると思います。救急を通して多くの経験をしたい人、教えられるだけでなく教えることも大事にしたい人は、ぜひ一緒に当院で学びましょう。食堂も安くておいしいですよ！

熊本赤十字病院
第一救急科副部長
加藤 陽一
Youichi Katoh

●指導医からのコメント

当院では指導医-専攻医-研修医の屋根瓦方式の指導体制で、研修医も主体性を持って治療や手技に当たれます。また、研修医の出身大学は様々で、全国各地から来た同期と切磋琢磨できるのも魅力。将来どの専門に進むとしても、ジェネラリストとしての基盤作りをしたい研修医をお待ちしています！

熊本赤十字病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール

2年次：診察科目／内科

曜日	月	火	水	木	金
朝		研修医講義			
午前	入退院カンファレンス、病棟管理				
午後	病棟管理	外来研修（2年次のみ）	回診、病棟管理	外来研修（2年次のみ）	病棟管理
夕方	内科講義		内科カンファレンス		

■初期臨床研修 年間スケジュール

〈ER重点〉初期臨床研修プログラム

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	→	救急	→	外科	→	産婦人科	→	小児科	→	内科	→
場所	熊本赤十字病院（基幹型）											→

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→		→	救急	→	精神科	地域	選択科研修			→
場所	熊本赤十字病院（基幹型）					→	協力型病院、協力施設		熊本赤十字病院（基幹型）			→

〈総合診療重点〉初期臨床研修プログラム

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	→	救急	→	外科	→	産婦人科	→	小児科	→	内科	→
場所	熊本赤十字病院（基幹型）											→

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→		→	救急	精神科	地域	→		選択科研修		→
場所	熊本赤十字病院（基幹型）				→	協力型病院、協力施設			→	熊本赤十字病院（基幹型）		

後期研修　新専門医制度においては、「内科」「外科」「救急科」「総合診療科」「産婦人科」の5領域の基幹施設として専門研修プログラムを整備。（詳細はホームページを参照）

教わり、そして教える研修実践経験の中から得る技術と知識

プログラムの最大の目的は「どのような状況においても、患者から逃げず、自分のできることを最大限に行い、かつ自分の限界を見極め、助けを呼べるようになること。」そのために、3つのポイントを置いています。

■ER重点／年間6万人以上の患者さんが来院する救命救急センターを持つ当院では、子どもからお年寄りまで、軽症者から重症者まで様々な患者さんが受診されます。当院の救急研修は、救急科をローテーションする期間だけでなく、1年を通じて救急外来担当を受け持ち、月5～6回は準夜帯の救急外来を指導医のもとで研修します。軽症の患者さんを多数診察し、その中から重症患者を見逃さない能力、救急車で来院されるような重症の患者さんに対応する初期診療能力、この2つを〈ERで重点的に〉2年間かけて習得することで、プライマリ・ケア対応能力が格段に身に付きます。

■ハンズオン／当院の指導方法は、積極的に治療・手技を経験させる「ハンズオン」実践主義です。もちろん、指導医のサポートと事前のシミュレーション訓練はかかせません。テキストを読むだけ、見学だけでは、自分の本当の知識や技術にはなり得ません。実践経験して初めて、脳裏に深く刻まれます。

■屋根瓦式指導／1年次では、2年次研修医のアシスタントとしてチームで診療に加わり、2年次では、1年次を指導しながら主治医として治療に当たります。「教えることは学ぶこと」の理念のもとに、1年次～2年次～後期研修医～指導医の3～4枚の屋根瓦指導方式で研修を行います。

病院概要（2018年度時点）

研修・
認定施設の
一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 215名	研修医数 初期 32名 後期 23名	指導医数 67名	病床数 490床（一般）

標榜科　内科、血液・腫瘍内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺内分泌外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科、救急科、精神腫瘍科、病理診断科

専門医　内科8名、血液・腫瘍内科3名、神経内科4名、呼吸器内科2名、消化器内科9名、循環器内科6名、小児科12名、外科10名、乳腺内分泌外科2名、整形外科10名、脳神経外科4名、心臓血管外科8名、小児外科2名、形成外科2名、皮膚科1名、泌尿器科3名、産婦人科5名、眼科1名、耳鼻咽喉科2名、放射線科7名、麻酔科11名、救急科11名、病理診断科1名

指導医　内科3名、血液・腫瘍内科3名、神経内科2名、呼吸器内科1名、消化器内科8名、循環器内科4名、小児科7名、外科6名、乳腺内分泌外科1名、整形外科2名、脳神経外科1名、心臓血管外科3名、形成外科2名、泌尿器科3名、産婦人科3名、麻酔科4名、救急科2名

研修医募集要項

応募資格	①第114回医師国家試験（2020年2月実施）を受験予定の方又は、医師免許取得者で卒後臨床研修を未実施の方 ②マッチング参加者
応募締切・試験日程	未定（ホームページを確認ください）
試験内容	書類審査、小論文、面接試験（予定）
給料（月額）	1年次／基本給300,000円 2年次／基本給340,000円
諸手当	賞与有、時間外手当有
年次有給休暇	有
宿舎	職員用宿舎有（単身用・1LDK・駐車場付・病院から徒歩5分以内）
加入する保険等	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険の適用有
勤務時間	週38時間45分　平日午前8時30分から午後5時05分（休憩50分）
時間外勤務	有
当直回数	準夜勤　約5～6回／月
有給休暇	年次有給休暇／年間21日（採用年は15日）・夏季休暇（1週間連続の休暇取得が可能）・慶弔休暇等の特別有給休暇有
健康管理	職員健康診断（年2回）、各種予防接種、メンタルヘルスカウンセリング制度
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意
外部研修	教育研修への参加機会有（参加費用補助有）（日本赤十字社本社研修、日赤医学会等）
その他	職員食堂、院内職員用大浴場、仮眠室、ランドリー完備、医局内研修医室有、白衣（KC）・救急当直用スクラブ・PHSの貸与制度、互助会・院友会、院内職員用トレーニングルーム・音楽室・リラクゼーションルーム、テニスコート・グラウンド、各種クラブ・サークル活動有

所在地　〒861-8520 熊本市東区長嶺南2丁目1番1号
担当部署　熊本赤十字病院／診療支援課 教育研修担当
TEL　096-384-2111
FAX　096-384-3939
E-mail　rinsyokensyu@kumamoto-med.jrc.or.jp
URL　www.kumamoto-med.jrc.or.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.kumamoto-med.jrc.or.jp/
special/resident

県内全域で協力病院群を形成 豊富な指導医陣と最新の医療設備の下、将来に直結する研修を

国立大学法人熊本大学

熊本大学医学部附属病院

04 KUMAMOTO UNIVERSITY HOSPITAL

“研修の自由度の高さが魅力！
Common Diseaseから
難病まで幅広く経験”

Interview

研修医 大石 将之
MASAYUKI OOISHI

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 鹿児島大学
出身地 / 熊本県熊本市

県外の大学に進学しましたが、将来は故郷・熊本で働きたいと思い、早くから熊大の医局の雰囲気に慣れておきたいと思っていました。医師の数も多く、大学病院ならではの複雑な症例や最先端医療に触れる機会が多いことも魅力でした。さらに、見学に行った際にカンファレンスを見たのですが、その規模の大きさにも感激。自分が担当する症例以上の学びの機会も多そうだと感じました。他大学出身者もウェルカムな雰囲気で（研修医の半数近くは県外大学出身者です）、迷いなく熊大病院での研修を希望しました。
当院では6つの研修プログラムから選ぶことができます。私は、まず市中病院でプライマリケアを学んでから大学病院での研修に入りたいと思い、プログラムCを選択。1年目は公立玉名中央病院で総合診療を中心に学びました。2年目は希望に応じて臨機応変に行きたい診療科を決められます。2年間を通してCommon Diseaseから難病まで幅広く学べ、市中病院・大学病院それぞれの役割も学べました。学会や論文を読んでプレゼンを行う抄読会など、学びの機会も多く、自分の勉強時間もきちんと取れる環境です。私は3年目は麻酔科へ進むことを決め、今から専攻医に繋がる研修を行えています。ほぼ全ての科がそろう中で自由に研修内容を選べ、外病院での学びも充実している環境は魅力的だと思います。教育施設でもあるため教育熱心な先生も多く、恵まれた環境の中で医師の基礎を築ける場所ですよ！

熊本大学医学部附属病院
麻酔科・中央手術部（講師）
生田 義浩
Yoshihiro Ikuta

●指導医からのコメント

各領域にスペシャリストがいて、若手・中堅医師、教官まで厚い指導体制をとっています。教育機関として本人の研修段階に合わせて指導できるのも大学の特徴です。大学病院や協力病院で多くの医師や同僚と出会い、患者様から多くを学ぶことで、自分の医師としての可能性を広げる研修になるはずです。

新専門医プログラムにも直結
広さと深さを備えた臨床研修

大学病院が安定して評価してもらえている点は、研修範囲の広さと柔軟性です。大学病院と協力病院研修を行うことで診療の幅、経験値、医療連携を拡げることができます。研修中の多様な選択肢から、目的や探求心を持ち、医師としての将来に繋げることが可能です。また、基礎から専門医療まで一貫した指導のシステムが構築されており、3年目以降の新専門医プログラムにダイレクトに繋がるという点も大きな魅力といえます。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
1,497人	746人	17,778件

国立大学法人熊本大学

熊本大学医学部附属病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム最新情報はコチラ

プログラムA

※救急部門は同一施設での3か月連続とし、1年目あるいは2年目のいずれかの期間を選択する。

期間	12か月	12か月
分野	内科(6か月)、選択必修(3か月)、選択(3か月)または救急部門(3か月)	地域医療(1か月)、選択(8か月)、救急部門(3か月)または選択(3か月)
場所	熊本大学医学部附属病院	協力型臨床研修病院

プログラムB

※必修科目とは内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)である。
※協力型臨床研修病院での研修は、通常1年次の10月から2年次の9月まで行うが、希望者は最大3か月早く大学病院に戻って研修を行うことが可能である。

期間	6か月	12か月	6か月
分野	必修科目	未修了の必修科目(6か月)、地域医療(1か月)、選択(5か月)	選択
場所	熊本大学医学部附属病院	協力型臨床研修病院	熊本大学医学部附属病院

プログラムC

期間	12か月	12か月
分野	内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)	地域医療(1か月)、選択(11か月)
場所	協力型臨床研修病院	熊本大学医学部附属病院

プログラムD

期間	24か月
分野	内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)、地域医療(1か月)、選択(11か月)
場所	熊本大学医学部附属病院

プログラム総合診療・地域医療特化コース

※2年次の総合診療研修については指定された地域医療協力病院での研修が可能である。

期間	12か月	12か月
分野	内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)	総合診療科もしくは総合内科(3ヶ月)、地域医療(3ヶ月) 小児科(2ヶ月)、救急部門(2ヶ月)、選択(2ヶ月)
場所	熊本大学医学部附属病院	地域医療研修病院

プログラム小児科・産婦人科特化コース

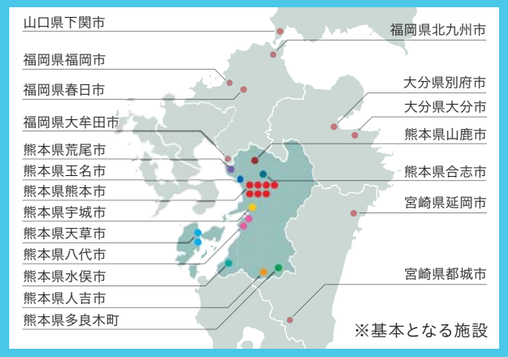
※小児科または産婦人科のいずれかを希望することができるコースである。
※2年次の選択科として小児科または産婦人科に関連する診療科、協力病院での研修も可能である。

期間	24か月
分野	内科(6か月)、救急部門(3か月)、選択必修(3か月)、地域医療(1か月)、小児科または産婦人科(11か月)
場所	熊本大学医学部附属病院

後期研修　2018年度より新たな専門医制度が開始され、大学病院群では各種基本領域の新専門医プログラムを実施しています。新制度の専門医取得を目指して、3年目以降の進路を考えながら初期研修を進めることができます。

2019年度の熊本大学医学部附属病院プログラムでは、県内外の多数の医療機関と協力し、3年目の新専門医プログラムに繋がる連携を充実させています。
当院プログラムでは大学病院と市中研修病院をともに研修できるたすきシステムを基盤として、診療の内容・経験値・医療連携の幅を拡げることができます。初期研修で将来の目的を見つけ、探究心を持つことが医師としてのキャリア形成にはとても重要です。九州出身者を中心に多くの研修医が研鑽し、初期研修を通じて3年目の進路を見出しています。また、個々の目的に合わせた自由度の高い研修プログラムも評価を受けており、総合診療・地域医療や小児科・産婦人科特化コースといった特徴あるコースの設定も行っています。A,B,C,Dの4コースでは、いずれも自由選択診療科の期間が充分確保され、必修項目の修了後は自分の専攻や方向性に直結した研修内容を選択することが可能です。新専門医制度に対応できる体制を準備しており、初期～後期研修への繋がりもスムーズな当院プログラムで視野を広げ、将来につながる研修を目指してください。

熊本大学医学部附属病院群参加施設一覧



病院概要(2018年度時点)

研修・認定施設の一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 611※名	研修医数 初期 75※名	指導医数 190※名	病床数 848床

※歯科医師を除く

標榜科　内科、血液内科、リウマチ科、腎臓内科、代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、精神科、脳神経内科、循環器内科、小児科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、移植外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科口腔外科

専門医　呼吸器内科14名、消化器内科16名、血液内科／膠原病内科／感染症内科15名、腎臓内科14名、糖尿病・代謝・内分泌内科14名、循環器内科17名、脳神経内科16名、心臓血管外科5名、呼吸器外科7名、消化器外科23名、乳腺・内分泌外科7名、小児外科・移植外科10名、泌尿器科11名、産科・婦人科20名、小児科30名、整形外科15名、皮膚科・形成再建科13名、眼科9名、耳鼻咽喉科・頭頸部外科8名、画像診断・治療科21名、放射線治療科4名、神経精神科9名、脳神経外科13名、麻酔科16名、歯科口腔外科5名、リハビリテーション科2名、救急・総合診療部9名、集中治療部6名、中央検査部2名、病理部5名、中央手術部3名、医療情報経営企画部2名

認定医　呼吸器内科19名、消化器内科14名、血液内科／膠原病内科／感染症内科26名、腎臓内科6名、糖尿病・代謝・内分泌内科15名、循環器内科29名、脳神経内科16名、呼吸器外科3名、消化器外科15名、乳腺・内分泌外科4名、小児外科・移植外科6名、泌尿器科8名、産科・婦人科7名、小児科2名、整形外科5名、皮膚科・形成再建科4名、耳鼻咽喉科・頭頸部外科4名、画像診断・治療科9名、放射線治療科3名、神経精神科1名、脳神経外科7名、麻酔科26名、歯科口腔外科10名、救急・総合診療部8名、集中治療部3名、中央検査部1名、中央手術部3名

研修医募集要項

応募資格	①第114回医師国家試験を受験する者、又は2015年4月以降に医師免許取得後、臨床研修未実施で臨床研修を受けようとする者 ②医師臨床研修マッチングプログラムに参加する者 ③2015年3月以降に医師国家試験の受験資格を得た者又は得る見込みの者
応募締切	2019年7月上旬(予定)
試験日程	2019年7月下旬(予定)
試験内容	書類審査、小論文試験、面接試験
給料(月額)	1年次／約300,000円 2年次／約300,000円
諸手当	超過勤務手当、通勤手当 等
年次有給休暇	有(6ヶ月継続勤務後1年間に10日)
特別有給休暇	有 4月～3月(1年度)に5日(夏季一斉休業分含む)
宿舎	無
加入する保険等	医療保険、年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)
当直回数	無(ただし、出向時は研修施設の規定に従う)
その他	院内無線LAN使用可、医学系契約サイト閲覧可(UpTo Date等)、白衣の支給、研修医室有

応募先住所	〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1
担当部署	熊本大学医学部附属病院総合臨床研修センター／事務担当／総務課卒後教育担当
TEL	096-373-5689(直通) 096-373-5994(直通)
FAX	096-373-5952
E-mail	iys-kensyu@jimu.kumamoto-u.ac.jp (総務課卒後教育担当)

募集要項の最新情報はホームページをご覧ください。
www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/rinsyokensyu/recruit/kensyu_i.html

急性期に特化した病院機能が迅速な判断力、的確な検査計画力を培う

国家公務員共済組合連合会
熊本中央病院

05 KUMAMOTO CHUO HOSPITAL

アットホームな
急性期医療を展開

当院は「質の高い誠実な医療による地域への貢献」を理念とし、地域の診療所・病院と協力・連携して、入院を中心とした急性期医療の展開により地域医療に貢献しています。各科の垣根が低く、アットホームな環境で他診療科、メディカル・スタッフと連携しながら、患者さんを中心とした誠実で効果的な医療が学べます。また研修医懇談会などで研修医を公私ともに支え、勉強会や院外講師による講演会などで学術面もしっかりサポートしています。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
492人	263.5人	3,629件

“患者様一人一人との
コミュニケーション力を
養える場所です！”

Interview

研修医 太田 成美
NARUMI OTA

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 大分大学
出身地 / 熊本県八代市

将来は地元・熊本県で小児科の開業医になるのが夢。大学は県外に出たので、初期研修は熊本でと思っていました。大学4年次に参加した合同説明会で、「熊本中央病院」の先生方の朗らかな雰囲気に惹かれたのが第一印象。その後、病院へ2回見学に行きましたが、せかせかしている感じがなく、先生方も優しく接してくれるのが好印象でした。私は人見知りで、新しい環境に慣れるまで時間がかかるタイプなので、「自分に合っている場所」だと感じて研修を志望しました。
当院は程よい症例数、程よい救急車搬入数で、自分のペースで一例一例を着実に勉強できる環境です。同期も7人と他院より少なめで、症例がバランス良く回ってくるのもありがたいです。先輩方に研修医一人一人のことをよく知ってもらえ、勉強会などにも気軽に誘っていただけます。
当院は腎臓科にかかる患者様が多くいます。治療の際には患者様の生活習慣を変えていただく必要があるため、一歩踏み込んだコミュニケーションが必要です。先輩の先生方は患者さんのことを良く覚えていて、「調子はどう？」「最近ゴルフはどう？」などさり気ない会話から治療後の経過を気に掛けていて、自分も見習いたいと頑張る日々です。しっかり患者様と向き合い、会話する時間を大切にしながら学びたい人には、とても合っている環境だと思います。研修医の雰囲気には、その病院の特徴がよく現れるもの。見学に来て、研修医の感じが合いそうと感じたら、ぜひ当院でじっくり研修しましょう！

熊本中央病院
救急総合診療科部長・腎臓科
松下 芳雄
Yoshio Matsushita

●指導医からのコメント

研修医1人当たりの受持患者は5名程度で、じっくり学べるのが特徴です。研修医の自主性を尊重し、2年目の研修の自由度はとても高いです。24時間救急やへき地医療など外病院での研修も充実。当院ならではのチーム医療でコミュニケーション力を養いながら、質の高い医療で一緒に地域貢献しましょう！

国家公務員共済組合連合会
熊本中央病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール(例)

1年次：診察科目／内科(腎臓科)

曜日	月	火	水	木	金
午前	抄読会	病棟回診・透析室・手術(シャント・PTA)等			
午後	透析室・病棟・CAPD外来・腎病理検討・新患／問題症例カンファレンス				全体回診・抄読会

■初期臨床研修 年間スケジュール(例)

熊本中央病院コース

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	→	→	外科	→	麻酔科	→	救急部門	→	内科	内科+CPC
場所	熊本中央病院	→	→	→	→	→	→	→	済生会熊本病院		熊本中央病院	

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	小児科	→	産婦人科	救急部門	精神科	地域医療	保健/選択	選択科※1	→	→	→	→
場所	熊本中央病院		福田病院	済生会 熊本病院	協力型病院 ※2	熊本中央病院 ・協力施設※3	多数・ 熊本中央病院	熊本中央病院	→	→	→	→

地域医療特化コース

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	→	→	外科	→	麻酔科	→	内科	→	選択科※1	→
場所	熊本中央病院	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	精神科	救急部門	→	→	地域医療	選択科		→	→	→	→	→
場所	協力型病院 ※2	熊本労災病院・玉名中央病院			熊本労災病院・ 玉名中央病院・ 熊本中央病院・ 協力施設※3	熊本中央病院 他		→	→	→	→	→

※1 選択科／呼吸器内科・呼吸器外科・消化器科・循環器科・内分泌代謝科・腎臓科・小児科・外科・整形外科・泌尿器科・眼科・麻酔科・心臓血管外科・放射線科・乳腺・内分泌外科など
※2 協力型病院／益城病院・くまもと心療病院・弓削病院・くまもと青明病院
※3 協力施設／沢田内科医院・すえふじ医院・牛深市民病院・公立多良木病院・阿蘇医療センター・水前寺公園クリニック・谷田病院

プライマリ・ケアに重点を置いた治療の実施から適切なコンサルテーションまで

当院の地域医療における機能は急性期に特化しているため、初期研修ではプライマリ・ケアに重点をおきながら的確な検査計画に基づく迅速な診断、そして治療の実施から適切なコンサルテーションができるまでを研修できます。それと同時に、リスク管理を高めることで安全な医療の提供を目指し、さらにわかりやすいインフォームド・コンセントにて患者や家族の満足度を高めることも研修の重点目標です。
研修コースは２コースあり、両コースとも1年目は内科・外科・麻酔科等を院内で研修し、基本的診療能力を身に付けることを目標としています。2年目は院内、院外複数科の中から選択科を選び、専門性を深く研修できる、主に院内での研修をメインとしたコースと、地域の中核病院で地域に密着した環境で救急、総合診療等を研修し「総合診療医」として学ぶ期間を設けた地域医療特化コースを用意しています。将来の専攻をじっくり考えながら選択科が選べるというのも当院の特徴で、研修医の希望により当院臨床研修管理委員会の承認が得られた場合には、研修科目や期間について弾力的運行を行います。

病院概要(2018年度時点)

研修・
認定施設の
一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 94名	研修医数 13名	指導医数 20名	病床数 361床

標榜科	呼吸器内科、呼吸器外科、消化器科、循環器科、内分泌代謝科、腎臓科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、心臓血管外科、放射線科、形成外科、緩和ケア内科、脳神経外科、腫瘍内科、救急総合診療科
専門医	呼吸器内科6名、呼吸器外科2名、消化器科5名、循環器科6名、内分泌代謝科2名、腎臓科6名、小児科5名、外科5名、整形外科6名、泌尿器科4名、眼科3名、麻酔科5名、心臓血管外科3名、放射線科5名、病理1名、脳神経外科1名、乳腺・内分泌外科1名
認定医	呼吸器内科7名、呼吸器外科2名、消化器科4名、循環器科6名、内分泌代謝科2名、腎臓科5名、外科5名、泌尿器科3名、麻酔科1名、心臓血管外科1名、放射線科3名、病理1名、乳腺・内分泌外科1名

研修医募集要項

応募資格	①医師免許取得者及び第114回医師国家試験合格見込者(2020年2月実施予定) ②医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切	2019年8月(詳細はHPをご確認ください)
試験日程	2019年8月(詳細はHPをご確認ください)
試験内容	書類審査、面接試験
給料	1年次　月額/300,000円 2年次　月額/310,000円
諸手当	賞与年2回、宿日直手当、住居手当、研修医研究手当
年次有給休暇	有(年10日間)
宿舎	有
加入する保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入有(病院負担)
当直回数	3回／月程度

所在地	〒862-0965 熊本市南区田井島1丁目5番1号
担当部署	診療支援センター/臨床研修事務担当　飯田
TEL	096-370-3111(代表)
FAX	096-378-8868
E-mail	kensyu@kumachu.gr.jp
URL	www.kumachu.gr.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.kumachu.gr.jp/about/recruit/

救急総合診療と日本有数の症例数 独自の研修システムで実りある研修を

社会福祉法人恩賜財団
済生会熊本病院

06 SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL

専門性の高い指導医が多数
総合的かつ専門的な研修が可能

当院は、指導医の在籍数が県内トップクラス。それぞれの指導医の専門性も高く、高度な医療を行っています。
救急総合診療センターでは、救急の受け入れから救急外来での鑑別診断や検査計画、治療を同時進行で行い、入院の必要性を判断して入院加療を行い、改善したら退院する、という一連の流れを全て経験できます。
こうした、医療現場の“入口から出口まで”を担える研修制度は、当院ならではの特徴だといえます。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
502.7人	374.6人	5,882件

“救命救急センターならではの幅広い症例数を経験でき周囲の温かなサポートも魅力。”

Interview
研修医 大塚 郁弥
FUMIYA OTSUKA

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 熊本大学
出身地 / 熊本県熊本市

学生時代に当院を見学した際、研修医が診察や検査などをてきぱきと進めている姿に憧れ、研修先として希望しました。年間約2万人という救急患者を受け入れている当院は、軽症から重症まで症例の数が非常に幅広く、勉強になる症例は皆で振り返って共有しています。看護師や薬剤師、技師などメディカルスタッフのスキルもとても高いので、ケアや薬剤、リハビリ、検査などについて教えてもらうことも多いです。また、研修医の主体性を尊重してくれるのも当院の魅力です。救急外来で初めて、急性心不全の患者さんの初期対応をした時は、指導医に後ろで見守ってもらいながら「自分で考え、責任を持って診察・加療するように」と判断を任され、医師であることの重みを感じました。こうした臨床研修を通じて、疾患の症状や治療法などについて、患者さんの背景や退院後の生活、合併症など見るべきポイントが分かるようになりました。これは教科書を読むだけではイメージできなかったことなので、まさに“百聞は一見に如かず”だと実感しています。学びが多く忙しい毎日ですが、スタッフ同士の役割分担が徹底されているため雑務に追われることはなく、自分で勉強する時間もきちんと確保できますよ。
当院の医師やスタッフは皆気さくな方ばかりで、プライベートで遊びに行くことがあるほど仲も良いです。病院全体で温かくサポートしてくれる恵まれた環境のもと、一緒に楽しい研修医生活を送りましょう！

済生会熊本病院
救急総合診療センター 主任医員
髙木 誠
Makoto Takaki

●指導医からのコメント

当院の研修では、「患者さんを救うために何を考え、どう動くか」を自主的に考えてもらいます。その上で何が足りないのかを伝え、勉強してもらうことで研修医の成長を導いています。初期研修は医師としての基盤を形成する大事な期間。日々成長する気概を持って挑んでください。

社会福祉法人恩賜財団
済生会熊本病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール(例)

1年次：診察科目／呼吸器内科

曜日	月	火	水	木	金
午前	重病者回診 病棟業務	カンファレンス 病棟業務	病棟業務	重病者回診 病棟業務	カンファレンス 病棟管理
午後	気管支鏡 カンファレンス	気管支鏡 新患カンファレンス 抄読会	気管支鏡 部長回診	気管支鏡 CT 下気管支鏡 CT 下肺針生検	気管支鏡

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	→	→	→	→	救急	→	外科	→	→	選択科
場所	済生会熊本病院	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

2年次(Aコース)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	地域医療	精神科	小児科	産婦人科	選択科	→	→	→	→	→	→
場所	済生会熊本病院	協力型病院・協力施設	→	→	→	→	済生会熊本病院	→	→	→	→	→

2年次(Bコース)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	精神科	地域医療	→	→	小児科	産婦人科	選択科	→	→	→	→
場所	済生会熊本病院	協力型病院	→	→	→	→	→	済生会熊本病院・協力型病院	→	→	→	→

後期研修

2018年度から開始した専門医制度では、内科・救急科・総合診療の3領域でプログラム認定を受けており、専門医取得に向けた研修が可能です。また、専門医制度とは別に後期研修医として研修を行うこともできます。
(詳細はホームページを参照)

プライマリ・ケアから高度先進医療まで学べる環境

臨床研修の基本理念に基づき到達目標を達成するプロセスの中で、プライマリ・ケアに対応できる基本知識や技能の習得を目指しています。高度な医療を提供する病院の特徴を活かし、各診療科でプライマリ・ケアから高度先進医療まで学ぶことができる環境です。済生会熊本病院を中心として、協力型臨床研修病院及び施設と臨床研修病院群を形成し、地域医療や当院にない診療科も含めて研修できる教育体制を構築しています。

当院ではAコース、Bコースの2つのプログラムを設けており、Aコース、Bコース共に1年目は院内で研修を行います。そのうち、内科6か月研修は、内科系診療科より3診療科を選択し、それぞれ2か月間ローテートします。必修の救急3か月研修は、1年目に2か月、経験を積んだ2年目に1か月研修を行い合計3か月間とします。選択研修は到達目標を達成するために複数科を選択し、原則1診療科で1～3か月間研修をします。

2年目については、Aコースは主に当院での研修、Bコースは地域の連携病院での研修が中心になります。ローテーションスケジュールは個人のニーズに合わせて調整できます。

病院概要(2018年度時点)

研修・
認定施設の
一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 200名	研修医数 25名	指導医数 90名	病床数 400床

標榜科
内科、外科、消化器内科、消化器外科、整形外科、呼吸器内科、呼吸器外科、腫瘍内科、糖尿病内科、泌尿器科、腎臓内科、心臓血管外科、循環器内科、脳神経外科、脳神経内科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科

専門医
内科27名、外科25名、消化器内科17名、整形外科5名、呼吸器内科12名、呼吸器外科2名、腫瘍2名、糖尿病科2名、腎臓科4名、泌尿器科7名、心臓血管外科4名、循環器内科20名、集中治療8名、脳神経外科4名、脳神経内科5名、放射線科11名、麻酔科9名、救急科10名、病理診断科1名
※主要学会ごと病院全体延べ人数

認定医
内科52名、総合診療科(プライマリ・ケア)6名
※専門医取得者は除く
※主要学会ごと病院全体延べ人数

研修医募集要項

応募資格	①医師臨床研修マッチングプログラム参加者 ②第114回医師国家試験を受験予定の方、又は、医師免許取得者で卒後臨床研修を未実施の方
応募締切	当院のホームページをご覧ください
選考期日	2019年8月頃　※決定次第ホームページに掲載します
試験内容	面接試験
給料	1年次 月額／300,000円 2年次 月額／310,000円
諸手当	当直代、準夜手当支給有
年次有給休暇	有／初年度10日(入職から3か月後経過後)、次年度11日
宿舎	有／単身用・世帯用、駐車場付、費用一部自己負担
加入する保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院加入有
当直回数	4回／月程度

所在地	〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号
担当者	●臨床研修プログラムに関すること 済生会熊本病院／人材開発室 TEL:096-351-8515 ●採用に関すること 済生会熊本病院／人事室 TEL:096-351-8074
E-mail	saiyou@saiseikaikumamoto.jp
URL	www.sk-kumamoto.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.sk-kumamoto.jp/recruit/trainee/early

救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター

07

KUMAMOTO
MEDICAL CENTER

救急疾患から悪性疾患まで豊富な症例を経験

当院は、救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院であるため、救急疾患から悪性疾患まで豊富な症例を経験することが可能です。日本有数の救急車搬入実績（年間約9,400台）を持つ救命救急センターでプライマリ・ケアが必要な救急患者を数多く研修し救急医療の基本的な診療を実践します。縫合、CVカテーテル挿入など侵襲的な処置の技術習得のため、シミュレーション・モデルを用いたスキル・トレーニング等を行います。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
612.6人	500.5人	5,041件

“救急車台数が多く、
すべての診療科がそろう。
豊富な症例を経験できる場所”

Interview

研修医 榎木 愛里
AIRI ENOKI

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 熊本大学
出身地 / 宮崎県宮崎市

初期研修は大学の人脈が生かせる熊本で、救急対応をしっかり経験できる場所を求めて、いくつかの病院を見学しました。中でも、研修医の先生達が楽しそうに働いている様子に惹かれて希望したのが「熊本医療センター」です。
当院は救急車受け入れ台数が多く、メジャーなものから症例報告になるようなものまで幅広く数多くの症例を経験できます。かといって忙しすぎず、きちんとお昼ご飯は食べられます（笑）。中心静脈のルート取りや挿管、救急外来での簡単な縫合、虫垂炎の手術まで、手技も多く任せてもらえるのもありがたいです。毎週のモーニングセミナーで様々な診療科の講習を受けられるので、研修で回らない診療科についても一通り学ぶ事ができます。当院は全部の診療科がそろうので、「全てを学べる」ことは非常に貴重な機会だと思います。
同期が20名と多いのですが、学校のクラスのような一体感で仲が良いです。街に近いので集まって飲みに行く機会も多く、互いに支え合っています。当院は医局がワンフロアに集まっているので指導してくださる先生とも話しやすく、病態の評価をディスカッションしやすいのも魅力。年に1～2回、北米型研修で海外から教授を招き、英語で発表を行ったり食事に同行したりするので、英語への抵抗もなくなりました。そして、2年目の選択期間が長く、希望に応じてかなり融通を利かせてくれます。救急での対応力を鍛えたい人、意欲的に様々な症例に挑戦したい人にとって、とても恵まれた環境ですよ！

国立病院機構 熊本医療センター
脳神経外科 医長
中川 隆志
Takashi Nakagawa

●指導医からのコメント

当院は各科に臨床研修指導医が在籍し、充実した指導体制を整えています。「モーニングセミナー」をはじめ多数の研究会や講演、「北米型レジデント研修」での英語での症例発表など、アカデミック面の学習も充実。必修科以外は研修医の希望に柔軟に対応します。モチベーションが高い研修医を待っています！

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター

2019年度臨床研修プログラム

プログラム最新情報はコチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次：診察科目／内科（糖尿病・内分泌内科）〈例〉

曜日	月	火	水	木	金
午前	論文勉強会 病棟研修	甲状腺エコー 病棟研修	病棟研修	甲状腺エコー 病棟研修	病棟研修
午後	病棟研修 症例検討会	NST回診 病棟研修	糖尿病教室実習 病棟研修	転倒転落回診・病棟研修 担当症例カンファレンス	病棟回診 病棟研修

■初期臨床研修 年間スケジュール

総合臨床研修プログラム

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	外科	→	内科	→	麻酔科	→	内科	→	救急	→
場所	熊本医療センター	→										

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	地域医療	選択	→								
場所	熊本医療センター	多数	熊本医療センター	→								

プライマリケア臨床研修プログラム

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	外科	→	内科	→	麻酔科	→	内科	→	救急	→
場所	熊本医療センター	→										

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	産婦人科	総合診療科	→	→	小児科	精神科	地域医療	→		選択	→
場所	協力病院	→										

後期研修

当院は新しい専門医制度に対応し、4領域の専門研修プログラムを提供します。
●基幹プログラム（当院で専攻医を募集するプログラム）／内科、麻酔科、救急科、総合診療

日本有数の症例数や救急搬送数に加え、世界の医療従事者との交流機会も豊富

①当院は救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院であるため、救急疾患から悪性疾患まで豊富な症例を経験することが可能です。
②日本有数の救急車搬入実績を持つ救命救急センターにおいて救急医療の基本的な診療を実践できます。年間約9,400台の救急車を受け入れており、プライマリ・ケアが必要な救急患者を数多く研修することができます。
③医療技術の習得のための講習会を実施します。縫合、CVカテーテル挿入などの侵襲的な処置の技術習得のため、シミュレーション・モデルを用いたスキル・トレーニング等を行います。
④北米型レジデント研修方法を習得するために北米からレジデント教育の指導者を招聘し、ケースカンファレンスなどのトレーニングを行います。EBMセミナーにおいて臨床研究を実際の医療に役立てる方法を習得します。
⑤地域密着型の地域医療研修を実践します。当院は開放型病院であり、また地域医療支援病院でもあるため地域の医療機関との連携協力も密で、全国でも有数の開放型病院登録医数を誇っています。従って、地域の中核病院、診療所においてプライマリ・ケアの研修を行います。
⑥充実した卒後研修システムを活用します。地域医療研修センターでは、年間2,600回にも及ぶ研修会を開催しており、これらの研修に参加します。また教育的CPCでは、研修医が中心となって徹底した症例分析を行います。

●プライマリケア臨床研修プログラムの目的と特徴

総合臨床研修プログラムの特徴に加え、本プログラムでは熊本県内における地域の中核病院において約1年の研修を協力型として行います。

病院概要（2018年度時点）

研修・認定施設の一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 常勤 102名 非常勤 36名	研修医数（前期） 1年次 18名 2年次 17名	指導医数 54名	病床数 550床

標榜科　総合診療科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器内科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、救急科、病理診断科、外科、頭頸部外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、泌尿器科、産婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科

専門医　アレルギー1人、胃腸科1人、肝臓4人、がん薬物療法4人、気管食道科2人、救急科10人、形成外科2人、外科8人、血液8人、血管インターベンション治療1人、高気圧酸素治療2人、口腔外科1人、呼吸器2人、細胞診2人、産婦人科4人、耳鼻咽喉科1人、集中治療2人、循環器5人、消化器7人、消化器外科3人、消化器内視鏡5人、小児科3人、脳神経内科3人、腎臓3人、心臓血管外科1人、頭痛1人、整形外科7人、精神科1人、創傷外科1人、透析4人、糖尿病4人、動脈硬化2人、内科15人、熱傷2人、脳神経外科2人、脳卒中2人、泌尿器科5人、皮膚科3人、病理1人、婦人科腫瘍2人、ペインクリニック1人、放射線診断5人、放射線治療1人、麻酔科4人、リウマチ3人、臨床検査1人

認定医　整形外科1人、内科26人、外科6人、肝臓1人、救急1人、血液1人、消化器病1人、腎臓1人、消化器外科4人、脳神経外科1人、リハビリテーション1人、がん治療9人、ＰＥＴ核医学1人、検診マンモグラフィ読影1人、心血管インターベンション2人、胸部外科1人、乳癌1人、抗菌化学療法1人、歯科麻酔1人（医学会等、名称省略）

研修医募集要項

応募資格	2020年3月医師免許取得見込みの方、又は2004年度以降医師免許取得者で卒業臨床研修を未実施の方
応募締切	2019年8月1日（木）必着
試験日程	第1回　2019年8月8日（木） 第2回　2019年8月15日（木）
試験内容	作文、面接
給料	1年次　月額／340,000円 2年次　月額／360,000円
諸手当	通勤手当、特殊勤務手当 （放射線取扱手当、夜間看護等手当、ヘリコプター搭乗救急医療手当、特殊業務手当、超過勤務手当、休日給、夜勤手当、時間外手術等従事手当） ※支給される給与については、基本給、通勤手当及び特殊業務手当は固定給、それ以外の諸手当は実績給となります。
年次有給休暇	有
宿舎	有
加入する保険等	全国保険協会保険、厚生年金に加入。労働災害保証適用有
医師賠償責任保険	病院加入無し。個人加入任意（個人負担）
当直の回数	約3回/月

所在地	〒860-0008　熊本市中央区二の丸1番5号
担当部署	国立病院機構熊本医療センター/管理課給与係長
TEL	096-353-6501（代）
FAX	096-325-2519
E-mail	613jyoi@hosp.go.jp
URL	kumamoto.hosp.go.jp

募集要項の最新情報はホームページをご覧ください。
kumamoto.hosp.go.jp/rinken-index/rinken-recruitment

患者さまが満足される最新の医療と情熱をもって実践する

独立行政法人地域医療機能推進機構

熊本総合病院

08 KUMAMOTO GENERAL HOSPITAL

地域医療から先進医療まで
幅広い領域で多彩な経験を積む

医療圏の最も歴史ある公的病院として独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）の政策医療に呼応した４大疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）に対する質の高い地域完結型医療は勿論のこと、熊本県南唯一の腎センター・糖尿病センター・脳卒中センターに加えて、心臓病センター・消化器内科・血液内科ならびに各種内科系診療科や外科系手術も充実し、ヘリポートも活用した救急・災害医療にも対応している質の高い総合医療を行う高度急性期総合病院です。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
536.6人	329.4人	5,787件

“優秀な指導医のもと
あらゆる症例を経験し
技術と精神面を磨く”

Interview

研修医 木下 翔太郎
SHOTARO KINOSHITA

年数 / 医師4年目
出身大学 / 熊本大学
出身地 / 大分県大分市

熊本第2の都市・八代の中核病院であり、地域医療から先進医療まで幅広く学べるところに魅力を感じました。まるで西欧の美術館に来たかのように感じさせてくれる、落ち着いた雰囲気の院内で働けることも選択する際のポイントでしたね。また、ほぼ全ての科がそろっているため症例数も多く、さまざまな場面で研修医に診察や治療を任せてくれます。専攻医1年目で手術の執刀も経験させてもらいました。判断に迷うときもありますが、優秀な指導医やコメディカルスタッフが手厚くサポートしてくれるのでとても心強いです。研修中、多発外傷の患者さんを担当させてもらいました。運ばれてきた時は命が危険な状況でしたが、諦めずに治療を続けると徐々に回復し、無事に退院される姿を見送ることができました。この経験から「努力を惜しまず、患者さんのために最後まで尽くす」という医師の責務を改めて自覚しました。研修医に大切なことは、とにかくたくさんの経験を積むことだと思います。技術が磨かれることはもちろん、精神面でも大きく成長できるからです。当院は、各科の垣根が低く医師同士の仲が良いので、研修医も含めた歓迎会や新年会など、仕事以外での集まりが頻繁に行われています。また、指導医だけでなく上級医も相談がしやすく、病院全体で研修医を育てようという気概を感じます。ここなら、働きやすい環境のもと、いろんなことにチャレンジできます。皆さんの応募をお待ちしています！

熊本総合病院
副院長兼外科部長
堀野 敬
Kei Horino

●指導医からのコメント

臨床研修に大切なのは、当院の理念にもある“患者様に満足される最新の医療を、情熱を持って実践する”という信念です。研修は、“人の命を救う”という使命を果たすための準備期間。何事にも興味を持って挑戦し、経験を積むことで、医師である前に一人の人間として立派に育ってもらいたいです。

独立行政法人地域医療機能推進機構
熊本総合病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム最新情報はコチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール(例)

内科(消化器内科)

曜日	月	火	水	木	金
		病理カンファレンス		消化器カンファレンス	
午前	病棟 検査 (内視鏡又は超音波)	救急外来 病棟 検査	外来	病棟 検査	病棟カンファレンス 外来
午後	病棟 検査	病棟 検査	回診	病棟 検査	病棟 検査

■初期臨床研修 年間スケジュール(例)

Aパターン

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	→	→	→	→	救急	→	→	選択必修※1	→	→
場所	熊本総合病院	→	→	→	→	→	→	→	→	熊本総合病院・ 協力型病院、協力施設※2		

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	地域医療	選択※3	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
場所	熊本 総合病院	熊本総合病院・協力型病院、協力施設※2	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

Bパターン

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急	→	→	選択必修※1	→	→	内科	→	→	→	→	→
場所	熊本総合病院	→	→	熊本総合病院・ 協力型病院、協力施設※2	→	→	熊本総合病院	→	→	→	→	→

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	選択※1	→	→	→	地域医療	選択※3	→	→	→	→	→	→
場所	熊本総合病院・協力型病院・協力施設※2	→	→	→	熊本 総合病院	熊本総合病院・協力型病院、協力施設※2	→	→	→	→	→	→

※1 選択必修科目／外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科
※2 協力型病院・協力施設／[小児科]熊本大学医学部附属病院、国保水俣市立総合医療センター　[産婦人科]熊本労災病院　[精神科]平成病院
※3 選択科目／外科、消化器内科、脳神経外科、血液内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、心臓血管外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、麻酔科、放射線科、放射線治療科、病理診断科

少人数ならではの細やかな指導と実践主義で、経験値の高い研修をバックアップ

熊本市からのアクセスが良く、地方都市の中核病院である当院の特徴を生かし、プライマリ・ケアを中心に家庭環境や地域医療資源をも考慮した包括的ケアの実践まで、各科の垣根を越えた幅広い分野での経験を積むことにより自身の適正を見極めることが可能です。
これまで協力型臨床研修病院として研修医の受け入れを行っていましたが、今年度より基幹型臨床研修病院としてスタートしました。そのため、他院と比べて受入人数は少なくなりますが、少人数だからこそマンツーマンできめ細やかな指導が受けられ、実技も十分習得できるという利点があります。手術支援ロボット「ダヴィンチXi(da Vinci Xi)」をはじめとした最新の医療機器を備え、「とにかくやってみる」をモットーとしたハンズオン実践主義で指導しますので、研修医1人あたりの経験値としては、限りなく高いものになることを保証します。
研修の目標を達成するために、研修医の希望を最大限にいかした自由な診療科選択が可能ですので、やりたいことがあれば積極的に研修責任者に相談してください。診療科問わず、全ての医師が協力して指導します。

病院概要(2018年度時点)

研修・認定施設の一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 64名	研修医数 協力型 1名	指導医数 25名	病床数 400床

標榜科　内科、腫瘍内科、感染症内科、アレルギー疾患内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科、脳神経内科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、代謝内科、脂質代謝内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍外科、肝臓外科、膵臓外科、胆のう外科、食道外科、胃外科、大腸外科、内視鏡外科、疼痛緩和外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、アレルギー科、麻酔科

専門医　内科8名、血液内科1名、リウマチ1名、消化器病4名、消化器内視鏡4名、超音波1名、糖尿病2名、腎臓1名、透析1名、高血圧1名、循環器4名、心血管インターベンション1名、外科6名、心臓血管外科1名、脳神経外科2名、脳卒中3名、神経1名、消化器外科5名、肝臓1名、整形外科5名、泌尿器科2名、耳鼻咽喉科3名、頭頸部がん1名、アレルギー1名、漢方1名、産婦人科1名、生殖医療1名、皮膚科1名、麻酔科2名、放射線診断2名、ＩＶＲ1名、放射線治療1名、放射線腫瘍1名、病理1名、臨床細胞1名

認定医　内科10名、がん治療6名、プライマリ・ケア2名、心血管インターベンション1名、外科2名、消化器外科2名、消化器病1名、消化器がん外科4名、内視鏡外科1名、スポーツ1名、リウマチ1名、麻酔科1名、マンモグラフィ読影2名

研修医募集要項

応募資格	第114回医師国家試験(2020年2月実施)合格見込者又は医師免許を取得した者で臨床研修未実施者 医師臨床研修マッチングプログラム参加者
応募締切	2019年8月中旬から下旬(予定)
試験日程	2019年8月下旬から9月上旬(状況に応じて随時実施)
試験内容	書類審査、面接試験
給料	1年次　月額／約350,000円 2年次　月額／約350,000円
諸手当	賞与(年2回、病院の実績に応じて年度末賞与の支給あり)、超過勤務手当、宿日直手当、通勤手当　等
年次有給休暇	年次有給休暇(1年次15日、2年次20日)、夏季休暇(3日)、年末年始、慶弔に係る休暇　等
宿舎	有(3DK)
加入する保険等	健康保険組合、厚生年金、雇用保険、労働災害補償保険
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)
当直の回数	無(ただし、本人の希望がある場合には従事可能)

所在地	〒866-8660　熊本県八代市通町10番10号
担当部署	総務企画課
TEL	0965-32-7111
FAX	0965-32-2772
E-mail	main@kumamoto.jcho.go.jp
URL	kumamoto.jcho.go.jp

募集要項の最新情報はホームページをご覧ください。
kumamoto.jcho.go.jp

1年目で基本の研修を、2年目は希望に応じ各診療科を学ぶことができるプログラム

独立行政法人労働者健康安全機構
熊本労災病院

09 KUMAMOTO ROUSAI HOSPITAL

県南の公的中核病院として救急医療、地域医療の要で学ぶ

当院は、災害拠点病院（熊本DMAT指定病院）・地域がん診療連携拠点病院（国指定）・地域医療支援病院等に指定されている県南の公的中核病院です。年間約4,000台の救急車を受け入れ、救急医療をはじめ地域医療に積極的に取り組んでいます。病院の増改築で医局も新しくなり、ICUやヘリポートの設置など、更に救急医療に力を入れております。その中で、約80名の常勤医で（1年目2年目合せて）約20名の研修医の指導を行っています。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
529.5人	345人	3,400件

“指導熱心な上級医が多い病院！診療科を選択しながら学べる自由度も魅力”

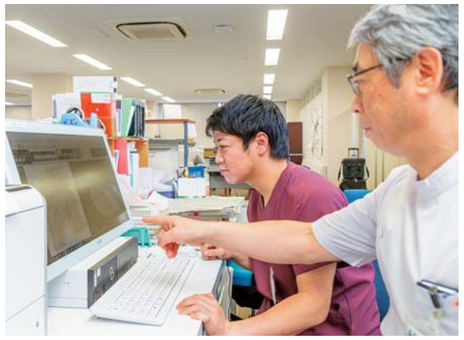
Interview

研修医 髙木 寛 HIROSHI TAKAKI

年数 / 臨床研修医1年目
出身大学 / 長崎大学
出身地 / 熊本県熊本市

大学は県外へ進学しましたが、将来は熊本で働こうと、県内の病院を数カ所見学しました。魅力的な病院ばかりでしたが、特に「熊本労災病院」は上級医の指導の熱心さと、研修医の生き生きとした働きぶりに惹かれました。医局の温かい雰囲気も魅力で、ここでの研修を希望しました。

当院では、研修1年目に6カ月間、内科系をローテートした後は、自分で診療科を選択しながら学ぶことができます。診療科が多く、県南広域から様々な症例が集まるので、偏りなく学べる環境です。実践第一で、特に救急外来では研修医が主体となるため、刺激を受けながら学ぶ毎日です。ある時、救急外来で初診にあたった重篤な患者さんが入院し、担当医として診療しました。自分で検査オーダーを出したり、ご家族とも話しながら、数週間後には自力で歩いて退院できるまで回復。救急搬送時から退院まで全て診ることができた貴重な経験でしたが、退院後「元気にしています」とお手紙をいただいたことも嬉しかったです。患者様は同じ病態であっても一人一人のバックグラウンドは違うもの。「病気」を診るのではなく「病人」を診ることの大切さを実感しました。上級医の先生方のフィードバックも手厚く、水曜朝に行われる研修医講義で専門性の高い学びも受けられます。当直も準夜勤なので、消化不良に陥ることなく自分のペースで学べると思います。「自分が何をしたいか」を探しながら研修したい人には、ぜひおすすめしたい病院です。



熊本労災病院
副院長・整形外科部長
池田 天史
Takashi Ikeda

●指導医からのコメント

当院では研修医室が総合医局内に設置され、週1回の研修医朝講義や、月1回のカツカレーの会（症例発表・交流会）、スポーツ部活動など、上級医と交流しやすい環境が整っています。研修の自由度も高く、「何を与えられるか」ではなく「何をしたいか」と能動的に考え、取り組む姿勢を重視しています。

独立行政法人労働者健康安全機構
熊本労災病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次：診察科目／内科

曜日	月	火	水	木	金
午前	腹部エコー検査		消化器 内視鏡検査	腹部エコー検査	呼吸器内科・放射線 カンファレンス 消化器内視鏡検査
午後	内科 カンファレンス	気管支鏡検査 呼吸器内科 カンファレンス	HCC カンファレンス	呼吸器回診 消化器内科・外科 カンファレンス	気管支鏡検査

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	→	→	→	→	救急※1	→	→	選択必修	→	→
場所	熊本労災病院	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	地域	選択自由	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
場所	小国公立 病院など	熊本労災病院	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

※1「救急」分野では、外科・麻酔科・整形外科の中から選択可能。

後期研修

内科においては、臓器疾患別の臨床研修、外科・救急においては麻酔科分野の研修も併せて行うことができる。
また、当院の特色でもある勤労者医療、産業医活動、職業別疾患医療についても学ぶことができる。
なお、臨床研修の目標として、病院診療に関する基礎知識を習得し、医療の知識及び技術能力向上を養い、総合的診断能力の習得を目指すこと。また、医師としての社会的使命に理解を深め人間の生命に関わる倫理、医療者としての人格の検証及び成長を掲げている。

基本的知識を理解し、病歴聴取・身体診察・基本手技を実施

内科においては、総合内科として6か月間の研修、外科・救急においては麻酔科分野の研修も併せてでき、勤労者医療・産業医活動、職業別疾患医療の研修も学ぶことが出来ます。研修の途中で希望により変更も可能です。
臨床医としての基本的知識を理解し、病歴聴取・身体診察・基本手技が実施できます。救急初期対応としてのABC、蘇生、縫合結紮、中心静脈確保が行え、上部消化管内視鏡検査、気管支鏡検査、超音波検査が行えます。
また、2年目で協力施設である横浜労災病院の救命センターで三次救急を学ぶことも可能です。（選択自由にて1月～2月）

病院概要（2018年度時点）

研修・
認定施設の
一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 79名	研修医数 13名	指導医数 34名	病床数 410床

標榜科　内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、糖尿病・代謝内科、精神科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、胸部外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科

専門医　内科6名、呼吸器内科5名、消化器内科5名、神経内科1名、糖尿病・代謝内科2名、循環器内科4名、小児科3名、外科11名、整形外科7名、形成外科2名、脳神経外科1名、心臓血管外科2名、皮膚科1名、泌尿器科2名、産婦人科2名、眼科1名、耳鼻咽喉科2名、放射線科3名、麻酔科4名、病理診断科1名

指導医　内科1名、呼吸器内科1名、消化器内科1名、神経内科1名、糖尿病・代謝内科2名、循環器内科1名、小児科1名、消化器外科1名、乳腺外科1名、呼吸器外科1名、小児外科1名、胸部外科1名、心臓血管外科1名、整形外科2名、脳神経外科1名、産婦人科2名、泌尿器科1名、耳鼻咽喉科1名、放射線科2名、病理診断科1名

研修医募集要項

応募資格	2019年度医師国家資格受験予定者
応募締切	2019年8月中旬～下旬（予定）
試験日程	2019年8月下旬（予定）
試験内容	面接試験
給料	1年次　月額／約443,000円（総支給額） 2年次　月額／約456,000円（総支給額）
年次有給休暇	有、年次有給休暇20日、夏季休暇、年末年始休暇
宿舎	有（1DK）
加入する保険等	各種社会保険、厚生年金基金、財形貯蓄
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意（個人負担）
当直の回数	2回/月程度

所在地	〒866-8533　熊本県八代市竹原町1670
担当部署	総務課／田中
TEL	0965-33-4151
FAX	0965-32-4405
E-mail	shomu@kumamotoh.johas.go.jp
URL	www.kumamotoh.johas.go.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
kumamotoh.johas.go.jp/
recruit/r-resident/

救急・がん・予防医療の3本柱で診療を行っている地域医療支援病院

独立行政法人地域医療機能推進機構
人吉医療センター

10

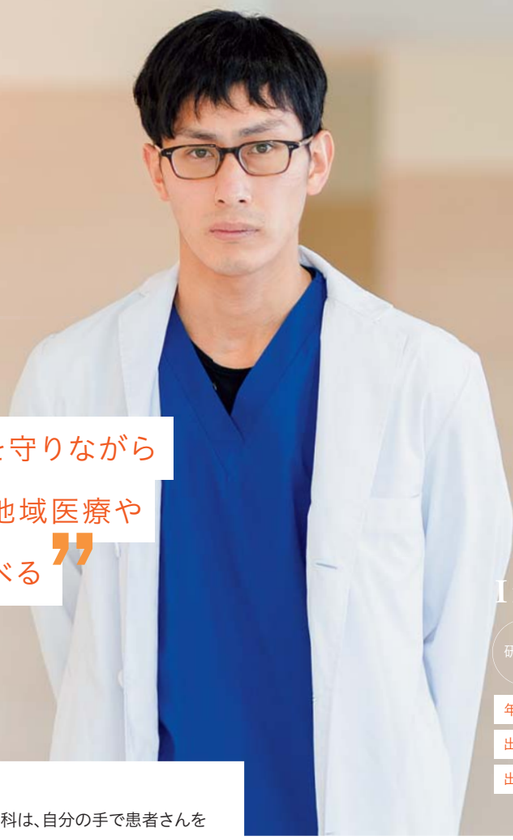
HITOYOSHI
MEDICAL CENTER

自分で考え行動できる環境で総合診療の臨床能力を高める

当院では、特に救急医療においては人吉球磨地域のほとんどの救急患者を受け入れるなど、幅広い診療を行っています。研修の際はまず自分で考え行動することで、基本的な臨床能力がアップするはずです。また、総合診療医の養成にも力を入れています。患者を全人的に診るために必要な臨床能力を身につけ、プライマリ・ケアに対応できる人材育成を行います。「この病院で研修をしてよかった。」と感じていただけるような環境で皆さんを歓迎いたします。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
319人	197人	2,325件



“自分のペースを守りながら“現場主義”で地域医療や総合診療を学べる”

Interview

研修医 佐藤 慶治
KEIJI SATOU

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 熊本大学
出身地 / 熊本県熊本市

学生時代、外科系、特に整形外科は、自分の手で患者さんを治す実感が強いと感じて興味を持っていました。この「人吉医療センター」には、若手で経験豊富な整形外科医が多くいると聞き、見学に来ることに。第一印象は「ザ・臨場」という感じで、良い意味で“泥臭く”診療に当たる研修医や上級医の姿に、臨床で多くのことを学べそうだと好感を持ちました。熊大病院のたすき掛けで、1年だけ当院を選択しようか迷いましたが、先輩が「人吉に2年間いたかった」と言っていたことが決め手となり、当院での研修を決めました。
実際研修が始まると、予想以上に「現場主義」な研修です。上級医のサポートの元で何でもやらせてもらえ、責任感を強く感じます。とはいえ忙しく症例に追われる程ではないので、1つ1つ自分で勉強を重ねながら、自分のペースで学ぶことができます。研修する診療科の自由度が高いのも魅力です。また、普通の急性期病院と違い、当院は救急搬送から退院まで全て院内で完結させる場合がほとんどです。軽度の肺炎から重篤な疾患まで症状も幅広く、一連の治療を後追いできるのは貴重な経験です。さらに「なるべく病院に来ない」ように、高齢者の生活面や家族背景などにも踏み込んで病気の予防に取り組んでいるのも当院の特徴です。高齢化が進む日本で、貴重な学びになると思います。整形外科分野を目指す人はもちろん、現場で鍛えられながら地域医療や総合診療を学びたい人にもオススメです。努力次第で、様々な未来が開ける場所です！

人吉医療センター
副院長・プログラム責任者
薬師寺 俊剛
Toshitake Yakushiji

●指導医からのコメント

当院では2年目の研修医が1年目を指導する屋根瓦方式をとっています。上級医や他職種の講義を受けられる「モーニングレクチャー」や、検査技師による検査実習など、病院全体で研修医を育てる取組みも。さらに、全研修医が相談しながら翌月の研修内容を決めるなど、自由度の高い研修システムを導入しています。

独立行政法人地域医療機能推進機構
人吉医療センター

2019年度臨床研修プログラム

プログラム最新情報はコチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール

1・2年次：診察科目／全科

曜日	月	火	水	木	金
午前	各科指導医が手術や検査、患者状況などを確認しながら随時決定していきます。				
午後					

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	→	→	外科	→	麻酔科	救急部門	→	→	内科	→
場所	人吉医療センター	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科	→	→	→	→	→	→	→
場所	人吉医療センター	人吉医療センター・愛甲産婦人科麻酔科医院	吉田病院	人吉医療センター・協力施設※1	人吉医療センター（選択科※2）・愛甲産婦人科麻酔科医院（産婦人科）・吉田病院（精神科）・リバーサイド御薬園（地域保健）・協力施設※1（地域医療）							

※1 協力施設／外山病院（人吉市）、五木村診療所（五木村）、朝戸医院（鹿児島県沖永良部）、湯布院病院（大分県）、若狭高浜病院（福井県）、二本松病院（福島県）、秋田病院（秋田県）、登別病院（北海道）
※2 選択科目／内科、外科、麻酔科、救急、小児科、地域医療、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理診断科、総合診療科

後期研修　JCHO人吉医療センター総合診療医専門医研修プログラムと日本プライマリ・ケア連合学会認定阿蘇天草球磨人吉プログラムを実施しています。（詳細は当院ホームページをご確認ください。）

「臨床研修の到達目標」に準拠した研修目標を習得するプログラム

医師としての人格を育成し、臨床医として必要な基本的診療能力を身に付けることを研修の目的とし、厚生労働省が提示の「臨床研修の到達目標」に準拠した研修目標を習得するプログラムです。
研修1年目に必修科目である「内科」6か月、「救急」3か月、選択必修科目である「外科」2か月、「麻酔科」1か月を研修し、2年目に必修研修科目「地域医療」1か月、選択必修科目「小児科」1か月、「産婦人科」1ヶ月、「精神科」1ヶ月、8ヶ月間は選択科目の内科/外科/麻酔科/救急/小児科/地域医療/産婦人科/整形外科/脳神経外科/眼科/耳鼻咽喉科/放射線科/病理診断科/精神科/地域保健から自由に選択することができます。（ただし研修目標到達状況によっては再度同じ科を研修する場合があります。）

病院概要（2018年度時点）

研修・認定施設の一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 60名	研修医数 11名	指導医数 25名	病床数 252床

標榜科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、血液内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、神経内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科、総合診療科
専門医	呼吸器内科1名、循環器内科4名、血液内科1名、外科7名、整形外科4名、脳神経外科1名、小児科2名、耳鼻咽喉科1名、産婦人科4名、総合診療科1名、麻酔科1名、放射線科2名、病理診断科1名、予防医療センター3名
認定医	呼吸器内科1名、循環器内科4名、血液内科1名、外科7名、産婦人科2名、総合診療科1名、予防医療センター2名

研修医募集要項

定員	7名
応募資格	①2020年2月実施医師国家試験合格見込者 ②医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切	2019年8月末
試験日程	随時
試験内容	書類審査、面接試験
給料	1年次／年6,000,000円程度（賞与含む） 2年次／年6,500,000円程度（賞与含む）
諸手当	時間外休日 他
年次有給休暇	有
宿舎	有（5,000円～）
加入する保険等	健康保険、厚生年金、労働災害補償保険、雇用保険
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意
当直回数	月5回程度

所在地　〒868-8555 熊本県人吉市老神町35番地
担当部署　総務企画課
TEL　0966-22-2191（代表）内線141
FAX　0966-24-2116
E-mail　main@hitoyoshi.jcho.go.jp
URL　hitoyoshi.jcho.go.jp

募集要項の最新情報はホームページをご覧ください。
hitoyoshi.jcho.go.jp/採用情報/

熊本県芦北医療圏と鹿児島県北薩地域を診療圏とする地域の中核的急性期病院

国保水俣市立 総合医療センター

11 MINAMATA CITY GENERAL HOSPITAL AND MEDICAL CENTER

チーム医療・地域医療を実戦で学ぶ 2019年度よりHCUも開設

当院は熊本県の南端・水俣市にある急性期中核病院です。熊本県南部と鹿児島県北部地域を診療圏として24時間体制で救急医療を行っており、山間部附属診療所でのへき地診療も行っています。また、2019年度よりHCUが開設されます。がん拠点病院や各種学会修練施設として専門性の高い治療から、プライマリケアまで幅広い症例を学ぶことができ、医師としての適性とキャリアパスを考えることができる環境です。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
800人	286人	1,683件

“研修医一人一人の理解度に合わせた指導が魅力 手技も多く経験できます”

Interview

研修医 鈴木 健久
TAKEHISA SUZUKI

年数 / 臨床研修医1年目
出身大学 / 熊本大学
出身地 / 神奈川県川崎市

研修先には、手技の経験をたくさん積めて地域医療を学べる場所を探していました。「水俣市立総合医療センター」は、医療に熱意を持った先生方が多いと聞いていました。見学に行くと、医師はもちろん看護師さん達も気さくで、優しい雰囲気が好感触。県南から鹿児島県北薩までカバーする中核病院なので、Common Diseaseから重篤な症例までいろんな患者様を診る機会が多く、力をつけるのに魅力的だと思いました。
当院での研修は、中規模病院ということもあり、ローテーション以外でも各科の先生が指導してくださったり、手技を経験させていただいたりと、やる気次第であらゆる経験を積める場所です。指導医の先生方は研修医一人一人の理解度を把握しながら任せてくださるので、自分のモチベーションも上がり、学生時代より勉強熱心になったと思います（笑）。胸腔ドレナージや腰椎穿刺など、1度見学した後からは任せられる手技もあり、責任感やプレッシャーもあって身が引き締まります。以前救急を担当していた先生がいらっしゃるので、救外当直では一から教えてくださるのもありがたいです。救急の当直は希望した日に自由に入ることができ、23時までの準夜勤です。無理なくしっかり学べる環境だと思います。ここでは、研修医はレールに乗せられて学ぶのではなく、要望に合わせた研修を自由に組んでもらえます。図書室など学びの環境も充実しており、自主的に動きながら成長したい人は、理想通りの2年間を過ごせると思いますよ！

国保水俣市立
総合医療センター　副院長
阿部 道雄
Michio Abe

●指導医からのコメント

臨床研修では若手から中堅の医師が診療科を超えて指導します。患者さんに直接触れ、診療手技を実践的に習得できます。また、入院中だけでなくその後の病診連携、外来までの流れを経験し、臨床医として必要な基本的臨床能力を身に付けることを大切にしています。一緒に地域医療を頑張りましょう！

国保水俣市立
総合医療センター

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次：診察科目／内科（消化器内科）の例

曜日	月	火	水	木	金
午前	内視鏡	超音波	外来	病棟	病棟
午後	病棟	内視鏡	病棟症例 カンファレンス	病棟	病棟

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	→	→	→	→	選択必修	→	→	救急	→	→
場所	国保水俣市立総合医療センター	→	→	→	→	→	→	→	→	→	国立病院機構 熊本医療センター	

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	選択必修（1）及び選択（7）	→	→	→	→	→	→	→	選択	→	→	地域
場所	熊本大学医学部附属病院	→	→	→	→	→	→	→	国保水俣市立総合医療センター	→	→	→

病院概要（2018年度時点）

研修・
認定施設の
一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 52名	研修医数 基幹型 4名 協力型 1名	指導医数 16名	病床数 361床

標榜科　呼吸器内科、循環器内科、代謝内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、消化器内科、放射線科、脳神経外科、神経内科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科

専門医　呼吸器内科2名、循環器内科2名、代謝内科2名、小児科1名、外科5名、整形外科5名、産婦人科2名、泌尿器科2名、消化器内科1名、放射線科2名、脳神経外科1名、神経内科2名、麻酔科2名、歯科口腔外科1名

認定医　呼吸器内科2名、循環器内科2名、代謝内科2名、外科4名、整形外科1名、消化器内科4名、放射線科1名、神経内科2名

2019年開設予定のHCUイメージ

大規模病院と地方の中核病院を経験でき、マンツーマンでキメ細やかな指導が特徴

当院は、鹿児島県との県境に近い熊本県南に位置し、熊本県芦北医療圏と鹿児島県北薩地域を診療圏とする、地域の中核的急性期病院です。平成１６年度から熊本大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院として研修医の受け入れを行ってきた実績が認められ、平成２７年度から新たに基幹型臨床研修病院としてスタートしました。
受入人数としては大規模病院に及びませんが、少人数だからこそマンツーマンできめ細やかな指導が受けられ、実技も十分習得できるという利点があります。
当院の研修プログラムの最大の特徴は、２年間の研修期間中、当院と、協力型臨床研修病院である熊本大学医学部附属病院、国立病院機構熊本医療センターの３病院をローテーションする点です。
熊本市内の大規模病院と地方の中核病院を両方経験できるこのプログラムは、救急医療研修が充実し、選択科目についても合計４３の診療科（分野）から選択可能となるなど、豊富で幅広い症例を学べる構成となっています。

研修医募集要項

応募資格	医師国家試験（2020年2月実施）受験予定の方
応募締切	詳細は応募連絡先にご連絡ください
試験日程	2019年7月～8月に実施予定 詳細は決定次第ホームページに掲載
試験内容	書類審査、面接
給料（非常勤職員）	1年次／日額17,825円 2年次／日額18,600円 ※時間外手当は別途支給
諸手当	通勤手当（2km以上） 賞与あり（年2回）
休暇	年次有給休暇、夏季休暇、忌引
宿舎	有
福利厚生	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院において加入（個人加入は任意）
当直の回数	月2回程度（希望を考慮）

所在地	〒867-0041熊本県水俣市天神町1丁目2番1号
担当部署	総務課経営企画係　窪
TEL	0966-63-2101（内線585）
FAX	0966-63-1393
E-mail	minamata-sic01@ar.wakwak.com
URL	minamata-hp.jp/

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
minamata-hp.jp/recruit/
recruit01/recruit/recruit02.html

市民を愛する 市民に愛される 病院へ

荒尾市民病院

12 ARAO MUNICIPAL HOSPITAL

2022年に新病棟が完成予定
歴史と実績のある救急・高度医療を

当院は荒尾市唯一の急性期病院で、自治体病院として、また、有明地域の中核病院として、市民はもとより有明地域住民の医療の安心と安全、健康の維持増進のため、最新の高度で良質な医療の提供を行っています。特にウォークインで来院される救急患者の中に含まれる三次救急の患者を見落とさないことが重要と考え指導を行っています。地域住民に必要とされ、信頼される、そして支えられている“いい病院づくり”に全職員一丸となって励んでいます。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
356人	219人	1,186件

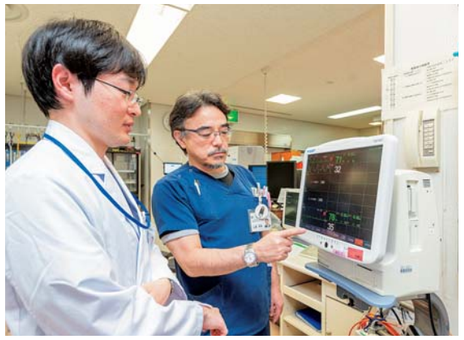
「救急車を断らない」
地域の市中病院だからこそ
学べることが、とても多い

Interview

研修医 蓑田 理彦
MASAHIKO MINODA

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 熊本大学
出身地 / 熊本県八代市

「荒尾市民病院」は、熊本・福岡双方への交通アクセスが良く、研修プログラムで日本医科大学附属病院の救命救急科での研修も選べることが魅力でした。また、研修医が少ない市中病院であり、自分から前に出るタイプではない私もしっかり実践的に学べそうだと思ったことも、大きなポイントです。当院での研修は、症例数は多すぎず少なすぎず丁度いいので、消化不良になることなく、症例レポートにもじっくり取り組めます。少人数制で「自分がやるしかない」環境のため、CV挿入も適度に回ってきたりと、手技の機会も豊富です。上級医も「この手技を経験した方がいいよ」と他科でも関わらずに実践させてくれます。また、当院は5万人規模の都市でありながら救急専門医が2名おり、他の専門科の先生方もプライマリ・ケアや救急の対応力とスピードが素晴らしいです。救急車を断らない“2.5次救急”的な対応を行う病院なので、救急外来ではファーストタッチから様々な症例を経験できました。加えて、看取りや死亡宣告など、医師として避けられない場面も任されました。現場で鍛えられたことで、自分の見解を持って診療に当たることができるようになってきたと思います。
当院では、自分のペースや希望に応じた研修が可能です。研修医のやる気に応じて環境を整えてくれる懐の深さもあります。地域医療や総合医療を実践的に学び対人、とにかく臨床で多く学びたい人にとって、理想的な研修のステージです。



荒尾市民病院
救急科部長（救急専門医）
松園 幸雅
Yukimasa Matsuzono

●指導医からのコメント

当院では二次救急医療機関としてCommon Diseaseから、重症外傷例や敗血症例にも対応。脳卒中・心筋梗塞・急性腹症・多発外傷は24時間体制が整っています。救急疾患の患者さんの初期診療～退院まで全般に携わる研修内容も特徴です。興味のある人はぜひ、見学に来ませんか？熱心な指導医がお待ちしています！

荒尾市民病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次：診察科目／内科

期間	月	火	水	木	金
午前	外来と病棟研修を中心にスケジュールを組みます。また、科の特性により手術、透析、お産等があります。 ※研修医自ら希望を設定できるように調整いたします。				
午後					

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急科	→	→	内科	→	→	→	→	→	外科	→	→
場所	荒尾市民病院・ 日本医科大学付属病院（救急救命科）			荒尾市民病院・米の山病院・ 大牟田天領病院（呼吸器科）			→	→	→	荒尾市民病院	→	→

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	産婦人科	精神科	小児科	選択研修	→	→	→	→	地域医療	選択研修	→
場所	荒尾 市民病院	荒尾 市民病院・ 協力施設※1	荒尾こころの 郷病院・ 有働病院	荒尾 市民病院・ 協力施設※2	荒尾市民病院・協力施設※3 （研修医と打ち合わせの上決定します。）					新生翠病院・ 米の山病院	熊本大学 医学部附属病院を除く 医療機関	

※1 協力施設／大牟田市立病院
※2 協力施設／熊本大学医学部附属病院・大牟田市立病院
※3 協力施設／熊本大学医学部附属病院（呼吸・神内・小児・泌尿・耳鼻）・日本医科大学付属病院（救急救命科）・大牟田市立病院・大牟田天領病院・荒尾こころの郷病院・米の山病院・新生翠病院・有働病院

後期研修

総合医として、「日常的な病気の診断と治療」「患者の最善利益を考え、問題に対処できる能力」「院内チーム医療のマネジメント」「在宅医療・健康増進・疾病予防に寄与」が目的です。
当院では2コース準備しています。「標準コース（総合医希望者）3年」「リフレッシュコース（新規開業等）8か月」

荒尾市唯一の急性期病院として、救急医療から専門医療まで研修可能

■目的
①一般的な診療において頻繁に行われる負傷又は疾病に適切に対応できるような基本的な診察能力（態度、技能、知識）を身に付けさせること。
②医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、医師としての人格を涵養し、人間性、社会性にも重点をおいた良質な医療を学ばせること。
■特徴
①地域の中核病院における救急医療研修を通して、幅広い分野における症例を救急専門医の指導のもと数多く経験できることで、基本的な救急処置技術を習得することができます。
②癌疾患等の専門性の高い医療を経験することにより医療の可能性と限界を理解し、併せて将来の専門分野の選択にも役立たせることができます。
③地域の医療機関、診療所、予防医学等の院外での地域医療を経験させ、地域に根ざしたプライマリ・ケアを習得することができます。
④カンファレンスや臨床病理検討会等に参加することにより、多様な疾病の多面的な捉え方を学ぶことができます。
⑤リスクマネジメントや感染対策等の院内会議に参加することにより、患者の安全を第一に考える医療を学ぶことができます。

病院概要（2018年度時点）

研修・
認定施設の
一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 48名	研修医数 7名	指導医数 29名	病床数 274※床

標榜科 内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、循環器内科、リハビリテーション科、麻酔科、呼吸器内科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、脳神経内科、消化器内科、形成外科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、緩和ケア内科、救急科、病理診断科、放射線治療科、画像診断・治療科、眼科、精神科

専門医 外科7名、整形外科3名、脳神経外科2名、放射線治療科1名、放射線診断科1名、産婦人科2名、麻酔科3名、血液内科1名、循環器内科3名、救急科1名、小児科1名、病理診断科1名、糖尿病・内分泌内科1名、脳神経内科2名、腎臓内科1名、皮膚科1名、総合内科5名、透析1名、消化器病1名、消化器内視鏡3名、心血管インターベンション1名、消化器外科5名、緩和医療1名、食道1名、脊椎脊髄1名、熱傷1名、外傷1名、プライマリケア1名、社会医学系1名

認定医 内科11名、がん治療4名、消化器がん外科治療4名、内視鏡外科技術認定2名、心血管インターベンション2名、リハビリテーション1名、運動器リハビリテーション1名、リウマチ1名、プライマリケア1名、人間ドック1名

※病床数274床のうち、一般270床、感染症4床

研修医募集要項

応募資格	医師国家試験合格見込みの方
応募締切	詳細は応募連絡先にご連絡ください
試験日程	詳細は応募連絡先にご連絡ください
試験内容	論文・面接
給料	1年次　月額／約550,000円（総支給額） 2年次　月額／約580,000円（総支給額） ※当院規程による（正職員）
諸手当	賞与（年2回）、医師業務、超過勤務、住居、通勤、扶養等（常勤医師と同じ）、退職手当有り
年次有休休暇	有（年間20日）
宿舎	有（民間アパート借上げ）、家賃補助8割（最大4万円）
保険	熊本県市町村職員共済組合
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意（個人負担）
当直の回数	2～4回/月（希望により変更可能）

所在地	〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾2600番地
担当部署	総務課
TEL	0968-63-1115（内線）511
FAX	0968-63-1189
E-mail	hospital@city.arao.lg.jp
URL	www.hospital.arao.kumamoto.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.hospital.arao.kumamoto.jp/recruit/recruit03.html

有明医療圏の中核病院として 地域医療の発展に貢献する

地方独立行政法人くまもと県北病院機構

公立玉名中央病院

13 TAMANA CENTRAL HOSPITAL

総合診療科がある地域中核病院
地域貢献できるジェネラリストを育成

地域の基幹病院として、玉名市や近隣市町村からの受診・紹介を多く受け入れています。平成27年に「熊本大学医学部附属病院地域医療・総合診療実践学寄付講座 玉名教育拠点」も設置され、Common Deseaseも多く経験できます。一次・二次救急医療も担っており、地域完結型の救急医療も研修が可能です。研修では症例が回ってこない、指導医の多対一、ということもなく、教育熱心な指導医を独占できるのも魅力。研修医として経験を積むには最適な環境と言えます。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
409.8人	268.2人	1,335件

“研修医のライフスタイルまで
尊重してくれる温かな場所
総合診療をしっかり学べます”

Interview

研修医 北村 由希子
YUKIKO KITAMURA

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 熊本大学
出身地 / 福岡県北九州市

私は他大学を卒業後医学部に進学し、在学中に結婚・出産したので子育てしながらの初期研修となり、研修先を悩んでいました。夫が1年早く当院で研修しており、指導医や事務の方に相談すると親身に相談に乗ってくださり育児との両立を応援していただける雰囲気だったこと、保育園や病児保育が近いこと、総合診療科に興味があったこと、また救急研修期間以外の救急当直がなく（現在は希望制で当直勤務有）、夫婦の両実家が遠くてもここなら研修ができるかもと思い当院に決めました。私は最初が総合診療科研修で、患者さんの病態把握は難しく大変でしたが、基礎力をしっかり鍛えていただきました。また小児科研修で素敵な指導医の先生方に出会い、先生方のように子どもに愛され家族に信頼される子どもの総合診療医を目指すべく、今後は小児科にすすみます。当院は先生方、コメディカル、事務のみなさんが「研修医ウエルカム」で優しく居心地が良いのも魅力の一つです。子育て相談できる先輩ママ・パパもたくさん周りにいて心強いです。
私達は当院の基幹型研修医の二期生なので、自分たちで研修の希望をだし、話し合いながら研修プログラムを作ってきました。準備されたレールに乗るのではなく、自分たちの手でプログラムを育てるのは大変ですが貴重な経験でした。これからも進化し続けるこの病院で自分の意志やキャリアプランを反映させながら充実した楽しい研修を過ごしませんか?

公立玉名中央病院
小児科
宮城 俊彦
Toshihiko Miyagi

●指導医からのコメント

当院は熊本市内から車で1時間、温泉もある観光地にあります。周辺には飲食店やワインバー、本屋もあり、アフター5も困りません。玉名は熊本ラーメンの発祥地でもあるんですよ。研修の疲れを癒せる場所がいっぱいです。そんな玉名で充実した研修をして、医師としての第一歩を踏み出しませんか？

地方独立行政法人くまもと県北病院機構
公立玉名中央病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム最新情報はコチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール

1年次：診察科目／小児科例

※希望日に休日（土日）小児科救急研修が1日あります

曜日	月	火	水	木	金
8:45～	病棟ミーティング				
9:00～	外来研修				
12:00～	病棟保育診療（適宜空時間）	病棟保育診療（適宜空時間）	病棟保育診療（適宜空時間）	病棟保育診療（適宜空時間）	病棟保育診療（適宜空時間）
14:00～		ワクチン接種	ワクチン接種	ワクチン接種	
	病棟研修				
16:00～	外来研修				
18:00～	自己研修				

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	→	→	→	→	→	麻酔科	小児科	外科	救急	→	→
場所	公立玉名中央病院	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	地域医療	選択科目 →	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
場所	公立玉名中央病院・協力型病院、施設※1	公立玉名中央病院・協力型病院、施設※2 →	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

※1 協力型病院・施設／上天草市立上天草総合病院、瀬戸内徳洲会病院、安成医院、和水町立病院、天草市立御所浦診療所、玉名地域保健医療センター
※2 協力型病院・施設／城ケ崎病院、山本眼科医院、福田病院、熊本中央病院、熊本大学医学部附属病院、熊本赤十字病院、国立病院機構熊本医療センター

後期研修　当院では、新専門医制度に対応し、「総合診療専門医プログラム」や「整形外科専門医プログラム」をはじめとした、複数のプログラムに参加しています。

研修医として患者を全人的に診ることができる総合診療能力を培うプログラム

2015年4月、地域医療を実践しつつ教育を行う部署として「熊本大学医学部附属病院地域医療実践教育玉名拠点」が公立玉名中央病院に開設されました。これは、地域医療を志す医師、臨床研修医及び医学生に対し、地域医療を実践しつつ教育することで地域に貢献できる医師を養成し、更に地域の医師不足を解消することを目的としています。その一環で新たに総合診療科を新設し、外来・入院・在宅医療に取り組んでいます。指導医は常時3名が在籍し、研修医と共に診療を実践しつつ、教育を行っています。現在、地域の多くの病院で望まれる医師像は「プライマリ・ケアを行える医師」との統計結果が出ており、これからの医師には、いずれの科に所属しようと、総合医マインドを持つことが望まれます。2018年から開始される新専門医制度で新たに総合診療専門医が基本領域に新設されることも決定しており、現在の医療ニーズにおけるパラダイムシフトは必然と言えます。この様に、当院の臨床研修は、地域医療研修教育機関としての機能と共に、地域の医師不足解消を使命とし、より多くの研修医及び医学生に学習の場を提供しています。

病院概要（2018年度時点）

研修・認定施設の一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 78名	研修医数 8名	指導医数 18名	病床数 302※床

標榜科　呼吸器内科、アレルギー科、神経内科、循環器内科、代謝内科、消化器内科、外科、泌尿器科、小児科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、婦人科、皮膚科、放射線科、麻酔科、糖尿病内科、腎臓内科、乳腺外科、内分泌外科、血液内科

専門医　整形外科7名、リウマチ2名、外科3名、消化器外科1名、大腸肛門病1名、呼吸器2名、神経内科1名、脳卒中1名、糖尿病2名、内分泌代謝科1名、循環器2名、泌尿器2名、性機能1名、透析2名、腎臓2名、消化器病1名、肝臓2名、内視鏡1名、総合内科4名、麻酔科2名、放射線診断1名、小児科3名、放射線2名

認定医　リハビリテーション3名、リウマチ2名、内科14名、プライマリ・ケア9名、心血管インターベンション治療1名、がん治療2名、麻酔科1名、核医学1名、人間ドック1名、マンモグラフィー読影1名、PET核医学1名

※病床数302床のうち、一般262床、回復期リハ40床

研修医募集要項

応募資格	①医師免許取得者及び医師国家試験合格見込者 ②医師臨床研修マッチングに参加する者
応募締切	2019年8月（詳細はホームページをご確認ください）
試験日程	未定
試験内容	書類審査、面接試験（予定）
給料	1年次／月額360,000円 2年次／月額400,000円 賞与無
諸手当	当直手当、時間外手当、診療手当
年次有給休暇	1年次／5日　2年次／10日
宿舎	有（6戸） 院外の宿舎については、月額60,000円まで病院負担
加入する保険等	全国健康保険協会、厚生年金保険、労働者災害保証保険の適用有、雇用保険の適用有
医師賠償責任保険	有り
当直回数	4回／月程度（救急研修時）

所在地　〒865-0064　熊本県玉名市中1950
担当部署　研修担当事務 前川久美子
TEL　0968-73-5000
FAX　0968-73-2867
E-mail　soudan@tamana-chp.jp
URL　www.tamana-chp.jp

募集要項の最新情報はホームページをご覧ください。
www.tamana-chp.jp/recruit/intern/index.html

「総合診療医」を育成する天草医療圏の中規模急性期病院

天草郡市医師会立
天草地域医療センター

14 AMAKUSA MEDICAL CENTER

2019年度より総合診療科増設
診療科の垣根を越えた医療を実践

各科の専門性の枠を狭めない、各科の行間の医療をお互い埋めあう努力を怠らないことで中核病院として地域完結型の医療を実践しています。垣根の低い医局であり、皆で患者さんの診療に取り組む、他科に気軽に相談できる、どの科にも緊急当番医がいるなど、診療科の枠を超えて他職種を含めた医療スタッフ全員で患者を診療するチーム医療を実践しています。2019年度より総合診療科が増設され、さらに総合的な医療に力を入れていきます。

2017年度病院実績

1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
185.9人	183.6人	1,362件

“公私とも充実させながら
地域中核病院ならではの
プライマリケアを学べます”

Interview

研修医 松永 光平
KOUHEI MATSUNAGA

年数 / 臨床研修医1年目
出身大学 / 熊本大学
出身地 / 福岡県久留米市

初期研修の2年間は、地方でプライマリケアから総合的に学びたいと思っていました。また学生時代に興味があった心臓血管外科は地方に少ない科なので、逆に研修医のうちに地方を経験しておきたいとの思いも。そんなとき、先輩の誘いで当院を見学。過ごしやすそうな雰囲気や、住居面など福利厚生の手厚さに惹かれました。2年目に大学病院での研修を選べることも決め手となり、当院での研修を決めました。
当院では原則として1つの科に研修医1人が回るので、手厚い指導を受けることができます。カテーテルや胃カメラなどの手技も、言われる前に“自然と手を出して”多く実践できる環境です。また、月4回までの当直の日を自由に決められるのもありがたいです。当院は救急専門医はいませんが、各科の当直で様々な対応を学ぶことができます。科の垣根を越えた対応力を持つ先輩医師に学びながら、初期対応から専門的な対応、経過まで後追いできるのは貴重です。患者様のわずかな異変を心音から聴き取り、何とか一命を取り留めたことも。上級医から指導された毎日の身体診察の大切さ、患者様に寄り添う必要性を自覚し、人の命を救いたい思いをより強くしました。加えて、プライベートも充実させ心身余裕を持ってこそ、医療の質を上げられるということも、当院の研修で学んでいます。もし進みたい科が定まっていないなら、実践的・総合的に学べる当院はおすすめです。自分のペースで公私充実させながら、医師としての基礎力を磨きましょう！

天草地域医療センター
外科・診療部長
髙田 登
Noboru Takata

●指導医からのコメント

当院では総合診療医育成に向け、全診療科一体となって教育します。天草医療圏ではIT医療連携「あまくさメディカルネット」などによる地域完結型医療も経験できます。超高齢社会の中、地域中核病院での初期研修は、貴重な経験になるはずです。
当院で意欲的に学び、将来の医師像を描いてください。

天草郡市医師会立
天草地域医療センター

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ

■初期臨床研修 週間スケジュール

1・2年次：診察科目／全科

曜日	月	火	水	木	金
午前	研修分野（診療科）ごとに、各指導医が外来診察、検査、手術状況等を確認しながら決定します。				
午後					

■初期臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科 →						救急 →			選択必修 →		
場所	天草地域医療センター →									天草地域医療センター・協力型病院・施設※1 →		

※1 協力型病院・施設／●選択科目（血液内科、腎臓内科、心臓血管外科等２９科）：熊本大学医学部附属病院
●産婦人科：天草中央総合病院　●精神科：天草病院、酒井病院　●地域医療：天草地域健診センター

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	地域医療	選択 →										
場所	天草地域医療センター	天草地域医療センター・熊本大学医学部附属病院 →										

2016年度から
基幹型臨床研修病院へ全診療科一体の「総合診療医」育成の場

当院は熊本県の天草地域の中心部に位置する医師会立210床の中規模急性期病院であり、天草医療圏の中核病院です。地域医療支援病院、小児救急医療拠点病院、がん診療連携拠点病院、脳卒中急性期病院、急性心筋梗塞拠点病院として数多くの救急患者および紹介患者を受け入れています。CT、MRI、血管造影装置などは世界最高水準のフラッグシップモデルを導入して、平成26年からは当院を中心として天草医療圏におけるＩＴ医療連携「あまくさメディカルネット」が稼働しており、機器の共同利用・画像・診療情報を共有化した病病・病診連携を行い、地域全体での医療連携を高めた地域完結型医療を行っています。平成16年度から熊本大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院として研修医を受け入れ、平成28年度から新たに基幹型臨床研修病院となりました。研修プログラムは、厚生労働省が定めた臨床研修到達目標達成を重視しており、当院を中心として協力型研修病院である熊本大学医学部附属病院と天草医療圏内の研修病院との密接な連携により、豊富で幅広い分野の疾患を経験できます。当院の臨床研修の特徴としては、研修医を単独診療科のみではなく、全診療科一体となって教育することを基本方針としており、その意味では「総合診療医」育成としての初期臨床教育の場として有益と思われます。

病院概要（2018年度時点）

研修・
認定施設の
一覧はコチラ

DOCTOR	INTERN	ADVISOR	SICKBED
医師数 33名	研修医数 7名	指導医数 14名	病床数 210床

標榜科　内科、循環器内科、消化器内科、代謝内科、呼吸器内科、脳神経外科、外科、整形外科、泌尿器科、小児科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、総合診療科、神経内科、リウマチ科

専門医　外科４名、脳神経外科２名、整形外科3名、循環器科3名、麻酔科2名、消化器内科１名、代謝内科１名、放射線科1名、泌尿器科2名

研修医募集要項

応募資格	医師国家試験合格見込の方
応募締切	随時
試験日程	随時
試験内容	書類審査、面接試験
給料	１年次／月430,000円（賞与800,000円） ２年次／月470,000円（賞与800,000円）
諸手当	日・当直手当別途支給
年次有給休暇	有
宿舎	有（アパート借り上げ、自己負担なし）
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	有（病院加入）、個人加入任意
当直の回数	月2回程度

所在地	〒863-0046 熊本県天草市亀場町食場854-1
担当部署	総務課人事係
TEL	0969-24-4111
FAX	0969-23-4086
E-mail	soumu@amed.JP
URL	www.amed.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.amed.jp/mc/clinical_training.php

救命救急

連携力が支える、熊本の救急医療

いち早く、患者さんのもとへ。

Doctor-Heli ドクターヘリ

「ドクターヘリ」とは？

救急医療用の医療機器を装備したヘリコプターのこと。消防機関からの出動要請に基づき、救急医療の専門医と看護師が同乗し救急現場に向かい、いち早く患者さんに救命医療を行うことを目的としています。時速約250キロで飛行するため、半径50キロ圏内であれば15分以内で救急現場に到着することができ、迅速な初期診療を行うことで、救急患者の救命率の向上や後遺症の軽減を図っています。

ドクターヘリ

取材協力：熊本赤十字病院

「熊本型」ヘリ救急搬送体制とは？

熊本県ではドクターヘリと防災消防ヘリ「ひばり」が、2機の特長を活かした役割分担と相互補完によって、県内全域をカバーしています。さらに、熊本市内4つの基幹病院が連携し、救急医療を行う「熊本型」のヘリ救急搬送体制を構築。救命率の向上を図っています。

防災消防ヘリ「ひばり」

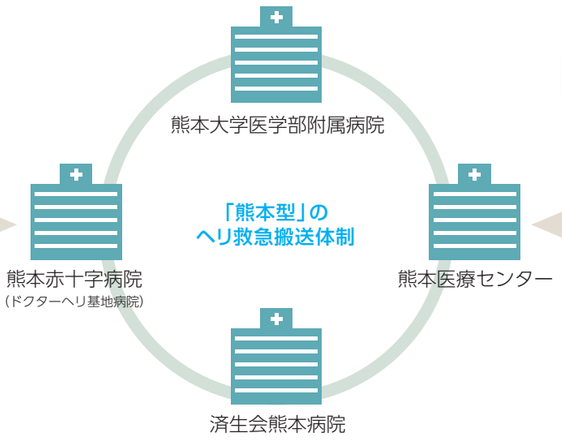
取材協力：国立病院機構熊本医療センター

特長

○2機のヘリの特性を生かした、明確な役割分担と、それぞれのヘリ対応ができない場合の相互補完
○消防機関からのヘリ出動要請を、県防災消防航空センターがワンストップで対応
○県防災消防航空センターが受け、要請された内容を4つの基幹病院が同時に共有

2機×4病院。安心の連携。

4つの病院間で連携して、救急搬送に備えます。



Doctor-Heli ドクターヘリ

主な役割

○医師、看護師による早期治療が必要な救急現場への迅速な出動
○現場での医師の判断による症状に応じた医療機関への搬送
○防災消防ヘリが出動中の病院間搬送対応

※「ドクターヘリ」は、救急用の医療機器を装備し、救急医・看護師が搭乗した専用のヘリコプターです。熊本赤十字病院が基地病院として運用しています。

防災消防ヘリ ひばり

主な役割

○重篤患者の病院間搬送による地域の救急医療機関支援
○ドクターヘリでは対応困難な現場での救急活動
○ドクターヘリが出動中の救急現場への対応

※熊本医療センターが、病院間の搬送の調整がつかない時の最終的な受入れや、必要に応じた医師の搭乗など、防災消防ヘリの医療的支援を行います。

“迅速な対応”で小さな命を救う

Children's Emergency Room 小児救命救急センター

「小児救命救急センター」とは？

熊本県には、診療科の領域を問わず、全ての重篤な小児救急患者を24時間体制で受け入れることができる、県の指定を受けた「小児救命救急センター」があります。
また、ここはドクターヘリ基地を兼ね備えたという点において、全国初の施設です。センター内には24時間365日、昼夜を問わず対応するPICU（小児集中治療室）が完備され、ドクターヘリや防災消防ヘリ、ドクターカーとの連携も加わって、救急搬送された小児重症患者を収容し、集中的な治療を行っています。全国的に整備が遅れている小児救急医療の充実を図るため、南九州の拠点病院としての役割を担う施設です。

TOPIC 「PICU（小児集中治療室）」とは？

PICU（小児集中治療室）とは、救急搬送された重篤な超急性期の小児患者や難病疾患を持つ小児患者を収容し、集中的な治療を行う施設のことです。日本のPICUは術後管理に特化したケースが多い中、県内の施設の場合は、緊急性の高い小児重症患者に24時間対応していることが特徴です。人工心肺や頭蓋内圧モニター挿入など、特殊治療を要する患者に対しては、チーム医療に取り組むなど関連する部署と連携しています。また、南九州唯一のPICUであり、ドクターヘリ、ドクターカーなどの広域搬送システムの確立により、県内のみでなく県外からの重症患者の受入れも増加しています。

【対象とする疾患】

呼吸不全、敗血症性ショック、細菌性髄膜炎、急性脳炎、急性脳症、けいれん重積、心不全、腎不全などの内因性疾患や小児外科術後、脳神経外科術後、交通外傷などの外因性疾患

※通常、新生児はNICU新生児集中治療（管理）室で管理されることが多いが、県内の施設の場合、呼吸不全や新生児仮死などの患者も受け入れが可能

熊本県の医療の現状

■熊本県の医師数の状況（平成28年調査結果の概要）

〈熊本県〉281.9名 ・ 240.1名〈全国〉

人口10万人に対する医師の数（医療施設従事医師数）

（平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査）

医師のキャリア形成を支援する取組み

熊本県は、人口10万人あたりの医師数が全国の10位となるなど全国有数の医療県と言われています。しかし、医療機関で働く医師の6割は、熊本市に集中し、地域偏在が課題となっています。この背景には、医師の専門医志向や、地域で勤務した場合のキャリア形成に対する不安などがあると言われています。県では、このような課題解決のため、平成25年12月、「熊本県地域医療支援機構」を設立しました。この機構では、熊本大学や基幹型臨床研修病院をはじめとする県内の医療機関や医師会などと連携して、計画的にキャリアアップできる体制や地域と熊本市内の医療機関を循環して勤務できるシステムづくりを進めています。

熊本県地域医療支援機構における主な取組み

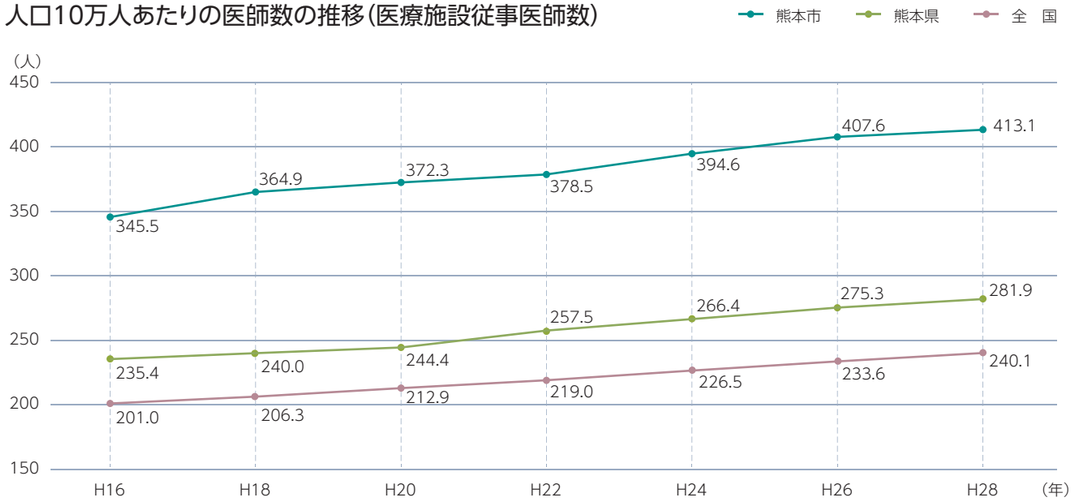
⑴県内における医師不足の状況等の把握・分析
⑵医師不足医療機関の支援
⑶地域医療に従事する医師のキャリア形成支援
⑷医師に関する求人・求職等の情報の発信、医師や医学生等からの相談対応
⑸県内医療関係機関との協力関係の構築

圏域別医師数（主たる就業先による）

保健医療圏	医師数		医療施設従事医師数		病院勤務医師数		診療所勤務医師数	
	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対	実数	人口10万対
熊　本	3,206	433.2	3,057	413.1	2,285	308.8	772	104.3
宇　城	179	168.8	174	164.1	99	93.4	75	70.7
有　明	306	191.4	289	180.7	152	95.1	137	85.7
鹿　本	101	195.2	97	187.4	57	110.1	40	77.3
菊　池	337	184.9	322	176.7	192	105.3	130	71.3
阿　蘇	89	141.1	86	136.3	45	71.3	41	65.0
上益城	122	145.7	115	137.4	64	76.5	51	60.9
八　代	328	236.6	318	229.4	187	134.9	131	94.5
芦　北	143	305.0	136	290.1	99	211.2	37	78.9
球　磨	182	207.8	176	201.0	107	122.2	69	78.8
天　草	237	205.9	231	200.7	143	124.2	88	76.5
合　計	5,230	294.8	5,001	281.9	3,430	193.3	1,571	88.6
全　国	319,480	251.7	304,759	240.1	202,302	159.4	102,457	80.7

※実数及び人口10万対（全国、熊本県、熊本）は、厚労省公表のデータ。
※人口10万対（熊本市外、二次医療圏別）は、「熊本県推計人口調査（平成28年10月1日現在）」をもとに、医療政策課にて独自に集計。
※人口に係る出典：全国／「人口推計（平成28年10月1日現在）」（総務省）の総人口　県／「熊本県推計人口調査（平成28年10月1日現在）」（県統計調査課）

人口10万人あたりの医師数の推移（医療施設従事医師数）



協力型臨床研修病院、研修協力施設一覧

熊本県臨床研修病院	協力型臨床研修病院	研修協力施設
医療法人創起会 くまもと森都総合病院	独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 一般財団法人杏仁会くまもと青明病院 山都町包括医療センターそよう病院 荒尾市民病院 一般社団法人熊本市医師会熊本地域医療センター	医療法人聖粒会慈恵病院
熊本市立 熊本市民病院 ※熊本市立熊本市民病院は、平成28年の熊本地震の被災により、現在、臨床研修医の募集を中断しています。	社会医療法人ましき会益城病院 特定医療法人佐藤会弓削病院 独立行政法人地域医療機能推進機構天草中央総合病院 荒尾市民病院 独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院 国保水俣市立総合医療センター 一般社団法人天草都市医師会立天草地域医療センター	山都町包括医療センターそよう病院
熊本赤十字病院	熊本県立こころの医療センター 一般財団法人杏仁会くまもと青明病院 特定医療法人富尾会桜が丘病院 特定医療法人佐藤会弓削病院 小国町外一ヶ町公立病院組合小国公立病院 上天草市立上天草総合病院 国民健康保険和水町立病院 山都町包括医療センターそよう病院 阿蘇医療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター	医療法人仁木会ニキハーティーホスピタル 国民健康保険天草市立河浦病院 日本赤十字社熊本健康管理センター
国立大学法人熊本大学 熊本大学医学部附属病院	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター ※熊本市立熊本市民病院 熊本赤十字病院 社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 国家公務員共済組合連合会熊本中央病院 一般社団法人熊本市医師会熊本地域医療センター 医療法人創起会くまもと森都総合病院 独立行政法人国立病院機構熊本南病院 荒尾市民病院 公立玉名中央病院 山鹿市民医療センター 独立行政法人国立病院機構熊本再春荘病院 独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院 国保水俣市立総合医療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター 球磨郡公立多良木病院 一般社団法人天草都市医師会立天草地域医療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構天草中央総合病院 独立行政法人国立病院機構九州医療センター 一般社団法人福岡県社会保険医療協会社会保険大牟田天領病院 特定医療法人北九州病院北九州総合病院 医療法人徳洲会福岡徳洲会病院 大分県立病院 国家公務員共済組合連合会新別府病院 宮崎県立延岡病院 独立行政法人国立病院機構都城医療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構下関医療センター 熊本市立植木病院 山都町包括医療センターそよう病院 社会医療法人黎明会宇城総合病院 国民健康保険和水町立病院 一般社団法人玉名都市医師会立玉名地域保健医療センター 医療法人社団川口会川口病院 阿蘇医療センター 小国町外一ヶ町公立病院組合小国公立病院 医療法人社団坂梨会阿蘇温泉病院 特定医療法人高森会阿蘇やまなみ病院 上天草市立上天草総合病院 高千穂町国民健康保険病院 五ヶ瀬町国民健康保険病院 出水総合医療センター 医療法人社団愛育会福田病院 医療法人社団寿量会熊本機能病院 医療法人金澤会青磁野リハビリテーション病院 社会医療法人社団高野会大腸肛門病センター高野病院 一般財団法人杏仁会くまもと青明病院 特定医療法人富尾会桜が丘病院 社会医療法人ましき会益城病院 医療法人社団松本会希望ヶ丘病院 医療法人再生会くまもと心療病院 医療法人信和会城ヶ崎病院 独立行政法人国立病院機構菊池病院 医療法人有働会菊池有働病院 社会医療法人芳和会菊陽病院 医療法人社団淡路平成会平成病院 医療法人山田会八代更生病院 医療法人正仁会みずほ病院 医療法人精翠会吉田病院 医療法人天草病院 医療法人啓正会酒井病院 医療法人建悠会吉田病院 医療法人森和会森病院 医療法人財団鶴友会鶴田病院 医療法人財団聖十字会西日本病院 一般社団法人菊池郡市医師会立病院 荒尾こころの郷病院	国保水俣市立総合医療センター附属久木野診療所 一般社団法人天草都市医師会立天草地域健診センター 医療保人社団森山内科・脳神経外科 医療法人徳洲会瀬戸内徳洲会病院 特定医療法人沖縄徳洲会与論徳洲会病院 特定医療法人沖縄徳洲会宇和島徳洲会病院 医療法人社団松下会あけぼのクリニック 熊本ホームケアクリニック 介護老人保健施設清雅苑 医療法人ソレイユひまわり在宅クリニック 下川産婦人科医院 片岡レディスクリニック 介護老人保健施設シルバーエイト 出水総合医療センター高尾野診療所 出水総合医療センター野田診療所 宮本内科クリニック たがみクリニック 天草市立御所浦診療所 ※熊本市立熊本市民病院は、平成28年の熊本地震の被災により、今後の受入に関しては、ご確認ください。

熊本県臨床研修病院	協力型臨床研修病院	研修協力施設
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 医療法人社団愛育会福田病院 社会医療法人ましき会益城病院 医療法人再生会くまもと心療病院 特定医療法人佐藤会弓削病院 一般財団法人杏仁会くまもと青明病院 独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 公立玉名中央病院	医療法人社団メディカルアクセス沢田内科医院 医療法人社団藤榮会すえふじ医院 医療法人田中会田中耳鼻咽喉科 天草市立牛深市民病院 球磨郡公立多良木病院 阿蘇医療センター 水前寺公園クリニック 熊本市保健所 熊本県御船保健所 医療法人社団藤榮会介護老人保健施設湧心苑 医療法人博光会介護老人保健施設ぽたん園 医療法人社団東陽会介護老人保健施設田迎ケアセンター 特定医療法人谷田会谷田病院
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	国家公務員共済組合連合会熊本中央病院 社会福祉法人恩賜財団済生会川内病院 社会医療法人ましき会益城病院 医療法人敬愛会城山病院 財団法人杏仁会くまもと青明病院 医療法人佐藤会弓削病院 独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター 球磨郡公立多良木病院 一般社団法人天草都市医師会立天草地域医療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構天草中央総合病院 上天草市立上天草総合病院 独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院 宮崎県立延岡病院	社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院 医療法人社団響会後藤内科クリニック 土井医院 医療法人社団謙心会ヤマサキ胃腸科クリニック 医療法人胃腸科・内科こうせいクリニック そのだ脳神経外科・消化器内科 医療法人社団松野皮ふ科・形成外科 医療法人幸会なかの耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック 医療法人田中会田中耳鼻咽喉科 五木村診療所(人吉医療センター) 教良木診療所(上天草総合病院) 熊本市保健所 熊本県宇城保健所 医療法人博光会介護老人保健施設ぽたん園 医療法人社団東陽会介護老人保健施設田迎ケアセンター 特定医療法人谷田会谷田病院 医療法人社団世安会くまもと乳腺・胃腸外科病院
独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	荒尾市民病院 公立玉名中央病院 山鹿市民医療センター	医療法人むすびの森あきた病院 医療法人社団松下会あけぼのクリニック 阿蘇医療センター 天草市立牛深市民病院 医療法人社団清心会春日クリニック 独立行政法人国立病院機構菊池病院 小国町外一ヶ町公立病院組合小国公立病院 新町いえむらクリニック 医療法人金澤会青磁野リハビリテーション病院 山都町包括医療センターそよう病院 医療法人田嶋会たしま外科内科医院 医療法人社団知新会西村内科脳神経外科病院 医療法人聖粒会慈恵病院 医療法人日隈会日隈病院 医療法人社団松本外科医院 独立行政法人国立病院機構宮崎病院 荒尾市民病院 公立玉名中央病院 山鹿市民医療センター 熊本市立植木病院 国保水俣市立総合医療センター 一般社団法人菊池郡市医師会立病院 独立行政法人国立病院機構熊本南病院 医療法人社団愛育会福田病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	国立大学法人熊本大学医学部附属病院 独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 国保水俣市立総合医療センター	医療法人社団平成会平成病院
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	医療法人社団平成会平成病院 医療法人社団優林会林整形外科医院 独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院 小国町外一ヶ町公立病院組合小国公立病院	片岡レディスクリニック 医療法人優林会介護老人保健施設・高齢者ケアセンター アメニティゆうりん
独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	医療法人精翠会吉田病院	愛甲産婦人科ひふ科医院 医療法人社団健成会介護老人保健施設リバーサイド御薬園 五木村診療所 愛生会外山病院 医療法人朝戸医院 独立行政法人地域医療機能推進機構湯布院病院 独立行政法人地域医療機能推進機構秋田病院 独立行政法人地域医療機能推進機構若狭高浜病院 独立行政法人地域医療機能推進機構登別病院 独立行政法人地域医療機能推進機構二本松病院
荒尾市民病院	熊本大学医学部附属病院(呼吸器内科・神経内科・小児科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 地方独立行政法人大牟田市立病院(小児科、産婦人科) 荒尾こころの郷病院(精神科) 一般社団法人福岡県社会保険医療協会社会保険大牟田天領病院(呼吸器内科) 日本医科大学付属病院(救急救命科[高度救命救急センター])	医療法人有働会有働病院(精神科) 特定医療法人杏林会新生翠病院(地域医療) 医療法人親仁会米の山病院(内科、地域医療)
国保水俣市立総合医療センター	熊本大学医学部附属病院 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	
地方独立行政法人くまもと県北病院機構 公立玉名中央病院	上天草市立上天草総合病院 医療法人徳洲会瀬戸内徳洲会病院 国民健康保険和水町立病院 玉名地域保健医療センター 医療法人信和会城ヶ崎病院 医療法人社団愛育会福田病院 国家公務員共済組合連合会熊本中央病院 熊本大学医学部附属病院 熊本赤十字病院 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	医療法人木生会安成医院 国民健康保険天草市立御所浦診療所 医療法人直親会山本眼科医院
天草郡市医師会立 天草地域医療センター	熊本大学医学部附属病院(血液内科、腎臓内科、心臓血管外科等29科) 天草中央総合病院(産婦人科) 天草病院(精神科) 酒井病院(精神科)	天草地域健診センター(地域医療)